



2024年度 第2四半期（4-9月） 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役社長（兼）CEO	小川 啓之
代表取締役（兼）専務執行役員CFO	堀越 健
執行役員経営管理部長	菱沼 聖史

2024年10月29日（火）

目次

I.2024年度 第2四半期（4-9月）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2024年度 第2四半期（7-9月）の概要
- P7-P8 : 2024年度 上期（4-9月）の概要
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2024年度 上期（4-9月）の状況（概要・セグメント売上高・利益）
- P11 : <リテールファイナンス> 2024年度 上期（4-9月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2024年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

II.2024年度の業績見通し <P14-P30>

- P15-P16 : 2024年度の見通し（概要・セグメント売上高・利益）
- P17-P18 : <建設機械・車両> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P19 : <リテールファイナンス> 2024年度の見通し
- P20 : <産業機械他> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P21-P26 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P27-P29 : <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移・売上高の見通し
- P30 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し

参考資料 <P31-P41>

- P32-P36 : 四半期毎の状況
- P37-P38 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し（一般建機および鉱山機械）
- P39 : Komtrax 月平均稼働時間推移
- P40-P41 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2024年度 第2四半期（4-9月）決算の概要

2024年度 第2四半期（7-9月）決算の概要

- ・売上高は、前年同期比+9.2%増収の1兆82億円。
- ・営業利益は、前年同期比▲2.3%減益の1,464億円。売上高営業利益率は、▲1.7ポイント低下し14.5%。
- ・純利益は、前年同期比▲8.1%減益の920億円。

金額単位：億円	2023年度7-9月 ¥144.2/USD ¥157.3/EUR ¥95.4/AUD	2024年度7-9月 ¥152.4/USD ¥165.6/EUR ¥101.5/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	9,234	10,082	+848	+9.2%
セグメント利益	1,511	1,474	▲ 38	▲2.5%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 12	▲ 9	+3	-
営業利益	1,500	1,464	▲ 35	▲2.3%
売上高営業利益率	16.2%	14.5%	▲ 1.7ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 101	▲ 183	▲ 82	-
税引前四半期純利益	1,399	1,281	▲ 117	▲8.4%
当社株主に帰属する四半期純利益	1,001	920	▲ 81	▲8.1%

2024年度 第2四半期（7-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+8.7%増収の9,359億円。セグメント利益は、前年同期比▲4.7%減益の1,357億円。セグメント利益率は、▲2.0ポイント低下し14.5%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+27.2%増収の313億円。セグメント利益は、前年同期比+8.0%増益の72億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+14.9%増収の512億円。セグメント利益は、前年同期比+12.7%増益の28億円。

□ : 利益率

() : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年度7-9月		2024年度7-9月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	9,234		10,082		+848		+9.2%	
建設機械・車両	(8,606)	8,607	(9,332)	9,359	(+726)	+751	(+8.4%)	+8.7%
リテールファイナンス	(192)	246	(243)	313	(+51)	+67	(+26.7%)	+27.2%
産業機械他	(437)	446	(507)	512	(+70)	+66	(+16.1%)	+14.9%
消去	▲ 65		▲ 102		▲ 37		-	
セグメント利益	□ 16.4%	1,511	□ 14.6%	1,474	□ ▲1.8ポイント	▲ 38	▲ 2.5%	
建設機械・車両	□ 16.5%	1,424	□ 14.5%	1,357	□ ▲2.0ポイント	▲ 66	▲ 4.7%	
リテールファイナンス	□ 27.0%	66	□ 22.9%	72	□ ▲4.1ポイント	+5	+8.0%	
産業機械他	□ 5.6%	25	□ 5.5%	28	□ ▲0.1ポイント	+3	+12.7%	
消去または全社	▲ 4		17		+20		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

円安と販売価格改善のプラス影響により増収。円安と販売価格改善のプラス影響があったものの、コスト増や構成差などのマイナス影響により、減益。

■ リテールファイナンス

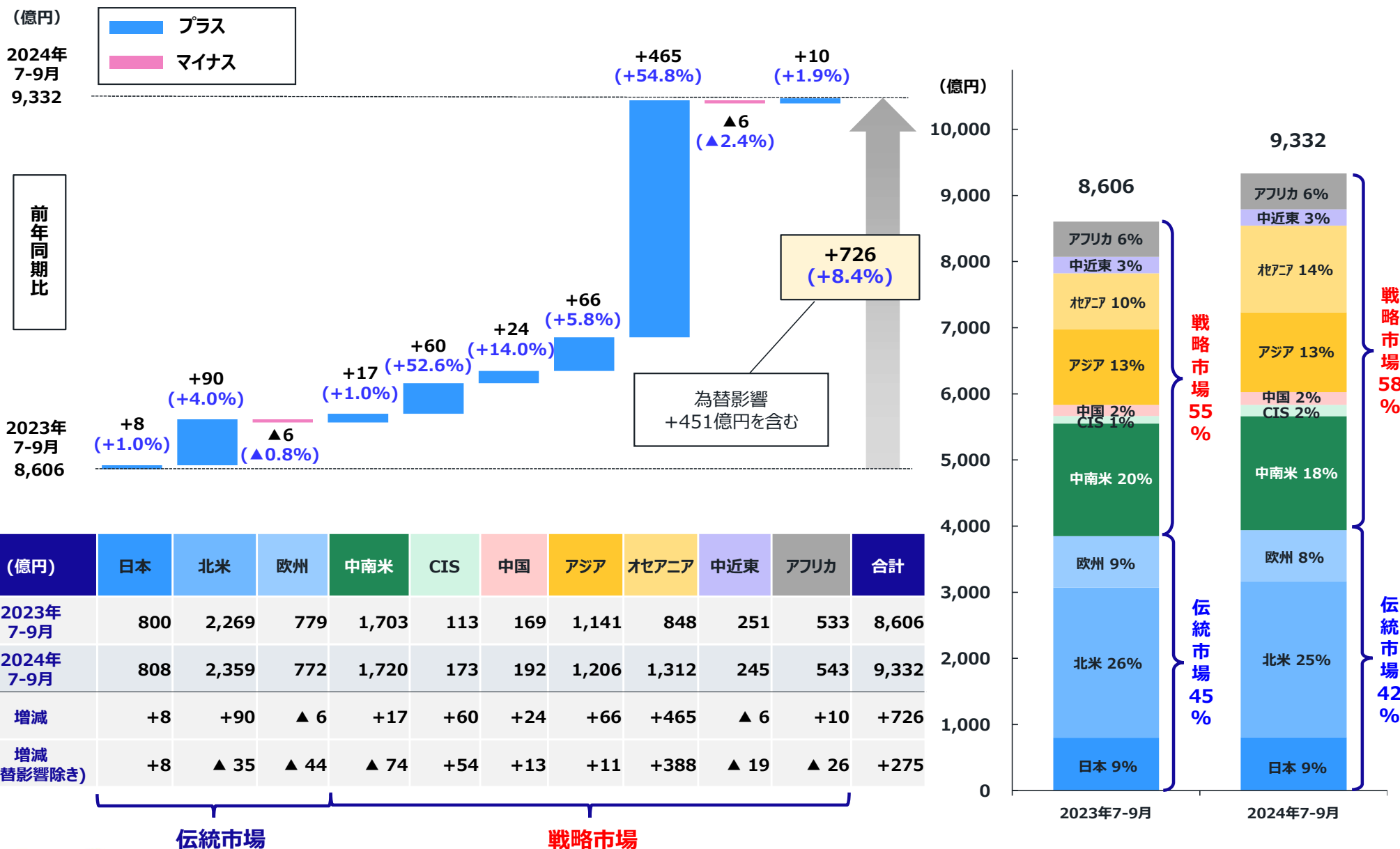
受取金利率の上昇、円安のプラス影響、金融債権の増加などにより増収増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。

<建設機械・車両> 2024年度 第2四半期（7-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+8.4%増収の9,332億円。
- ・欧州、中近東を除く全地域で売上が増加。オセアニアは鉱山機械の売上が増加。



2024年度 上期（4-9月）の概要

- ・売上高は、前年同期比+8.0%増収の1兆9,681億円。
- ・営業利益は、前年同期比+2.2%増益の3,034億円。売上高営業利益率は、▲0.9ポイント低下し15.4%。
- ・純利益は、前年同期比▲1.9%減益の2,017億円。

金額単位：億円	2023年/上期 ¥140.3/USD ¥152.5/EUR ¥92.6/AUD	2024年/上期 ¥153.9/USD ¥166.5/EUR ¥101.7/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	18,230	19,681	+1,451	+8.0%
セグメント利益	2,979	3,039	+60	+2.0%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 10	▲ 5	+5	-
営業利益	2,970	3,034	+65	+2.2%
売上高営業利益率	16.3%	15.4%	▲ 0.9ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 90	▲ 248	▲ 158	-
税引前中間純利益	2,880	2,787	▲ 94	▲3.3%
当社株主に帰属する中間純利益	2,055	2,017	▲ 38	▲1.9%
1株当たり配当金（円）	72円	83円	+11円	

2024年度 上期（4-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+7.2%増収の1兆8,302億円。セグメント利益は、前年同期比▲1.0%減益の2,780億円。セグメント利益率は、▲1.2ポイント低下し15.2%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+30.1%増収の618億円。セグメント利益は、前年同期比+14.1%増益の148億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+13.8%増収の968億円。セグメント利益は、前年同期比+77.3%増益の78億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年/上期		2024年/上期		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	18,230		19,681		+1,451		+8.0%	
建設機械・車両	(17,028)	17,076	(18,245)	18,302	(+1,217)	+1,226	(+7.1%)	+7.2%
リテールファイナンス	(369)	475	(478)	618	(+109)	+143	(+29.7%)	+30.1%
産業機械他	(833)	850	(958)	968	(+124)	+117	(+14.9%)	+13.8%
消去	▲ 171		▲ 207		▲ 35		-	
セグメント利益	□ 16.3%	2,979	□ 15.4%	3,039	□ ▲0.9ポイント	+60	+2.0%	
建設機械・車両	□ 16.4%	2,808	□ 15.2%	2,780	□ ▲1.2ポイント	▲ 28	▲1.0%	
リテールファイナンス	□ 27.3%	130	□ 24.0%	148	□ ▲3.3ポイント	+18	+14.1%	
産業機械他	□ 5.2%	44	□ 8.1%	78	□ +2.9ポイント	+34	+77.3%	
消去または全社	▲ 2		33		+35		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量減のマイナス影響を、円安と販売価格改善のプラス影響が上回り増収。円安と販売価格改善のプラス影響があったものの、物量減とコスト増、構成差のマイナス影響により減益。

■ リテールファイナンス

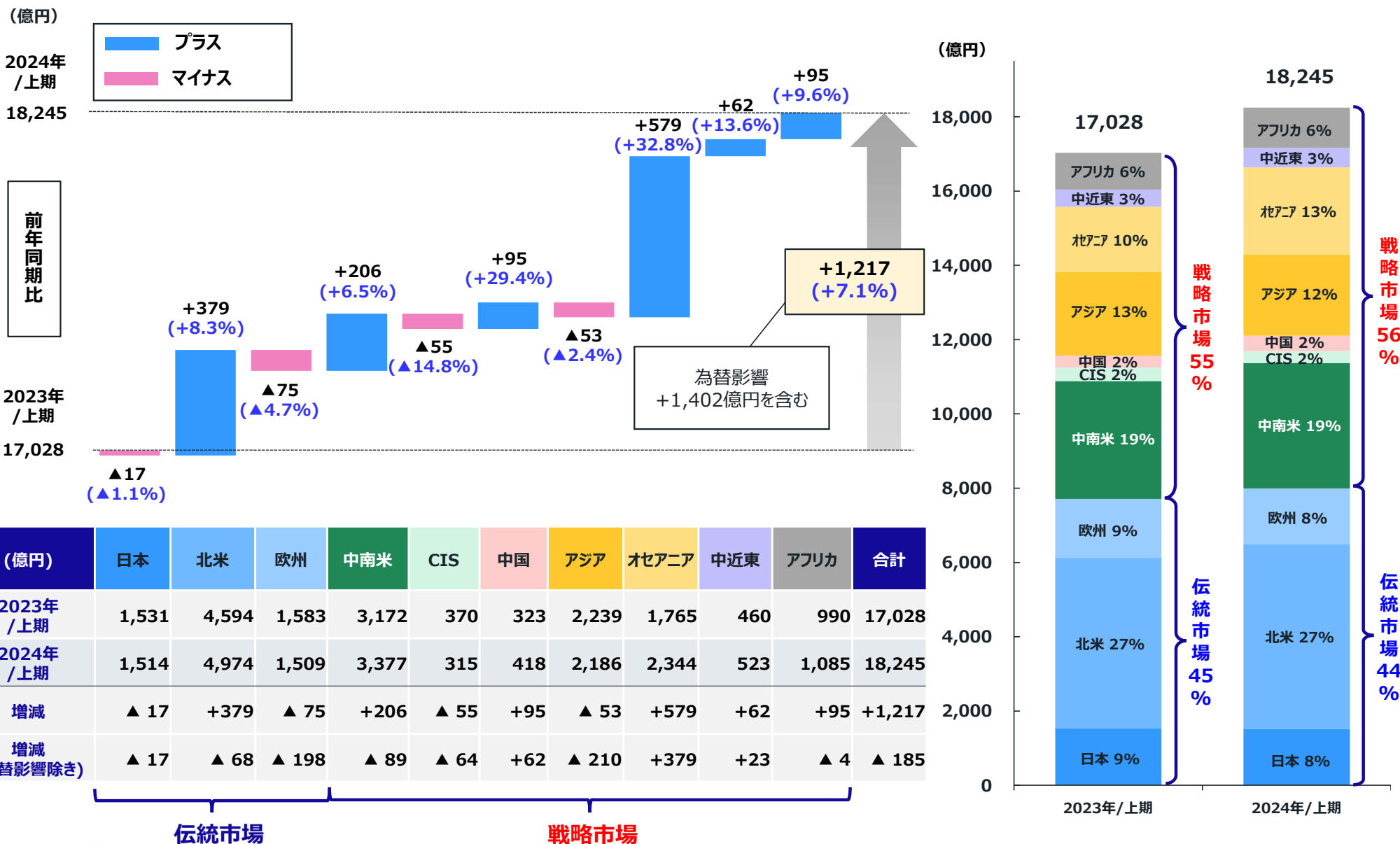
受取金利率の上昇、円安のプラス影響、金融債権の増加などにより増収増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。

<建設機械・車両> 2024年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+7.1%増収の1兆8,245億円。
- ・北米、中南米、オセアニアなどで増加。欧州、CIS、アジアなどで減少。

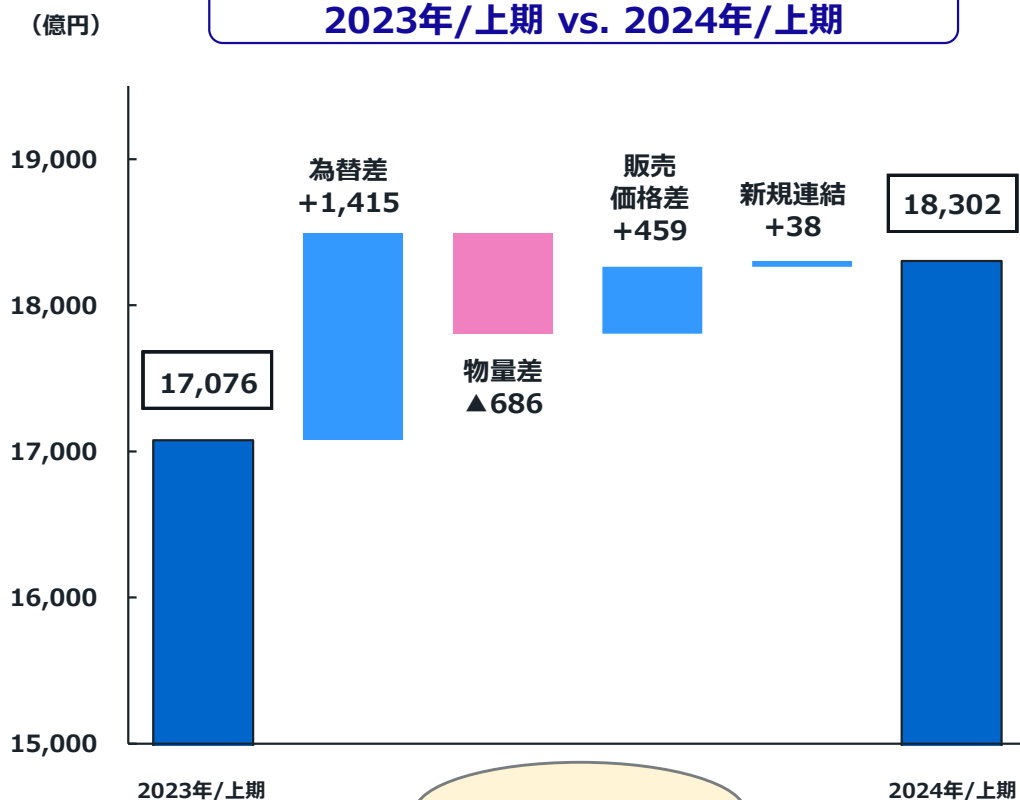


＜建設機械・車両＞2024年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量減のマイナス影響を、円安と販売価格改善のプラス影響が上回り、前年同期比+1,226億円の増収。
- ・セグメント利益は、円安と販売価格改善のプラス影響があったものの、物量減とコスト増、構成差のマイナス影響により、前年同期比▲28億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比▲1.2ポイント低下し15.2%。

売上高

2023年/上期 vs. 2024年/上期



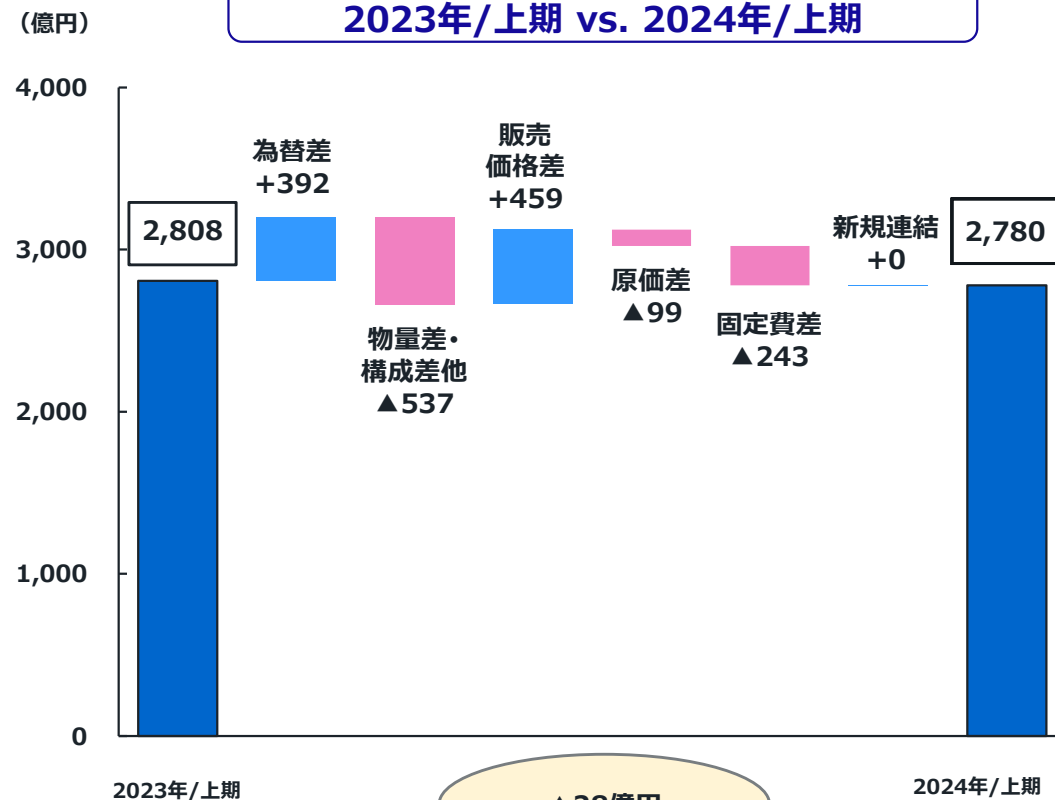
¥140.3/USD
¥152.5/EUR
¥92.6/AUD

プラス要因
マイナス要因

¥153.9/USD
¥166.5/EUR
¥101.7/AUD

セグメント利益

2023年/上期 vs. 2024年/上期



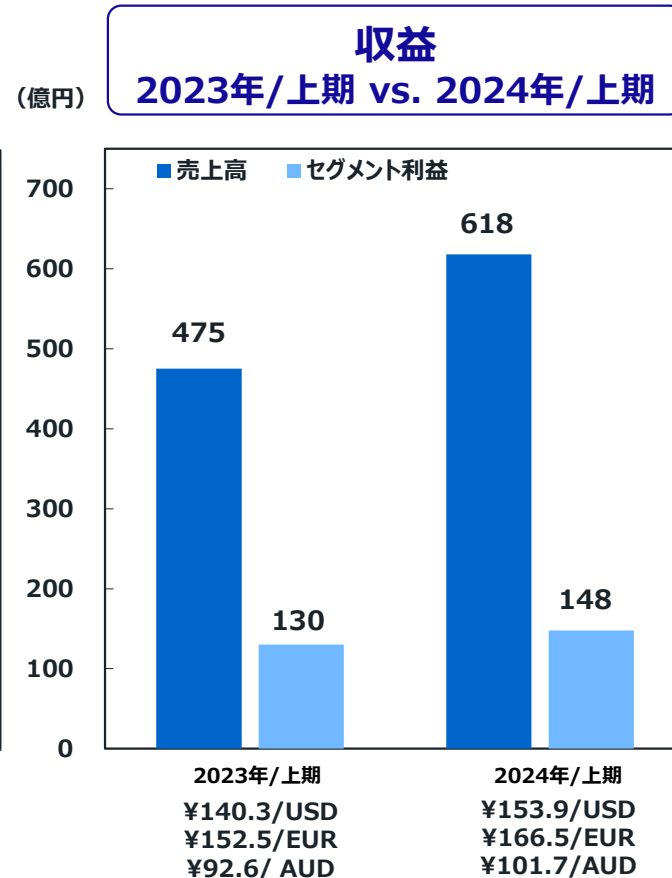
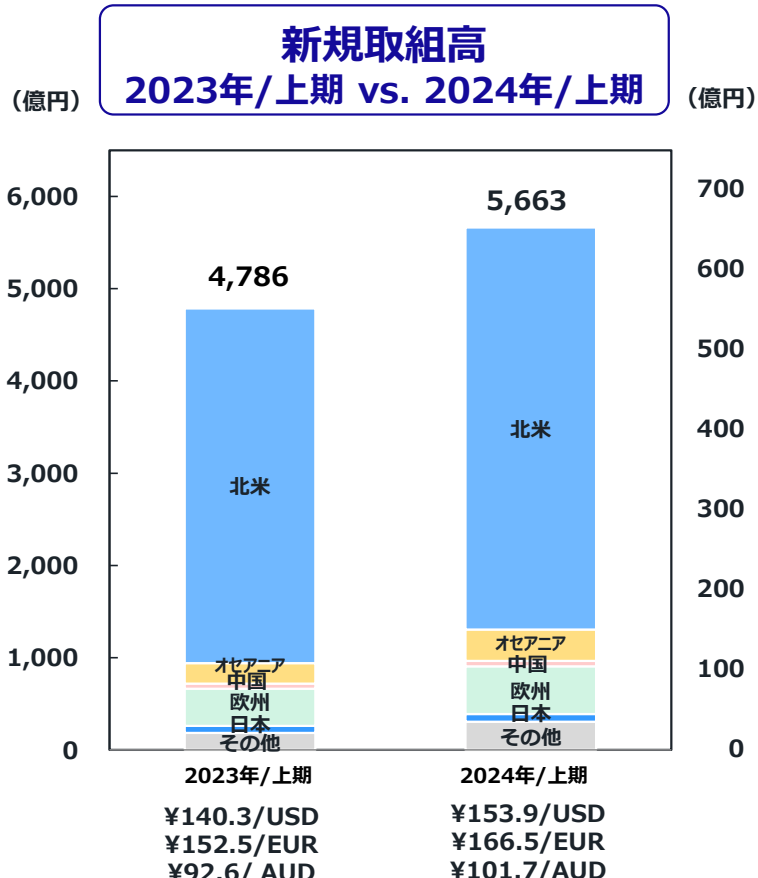
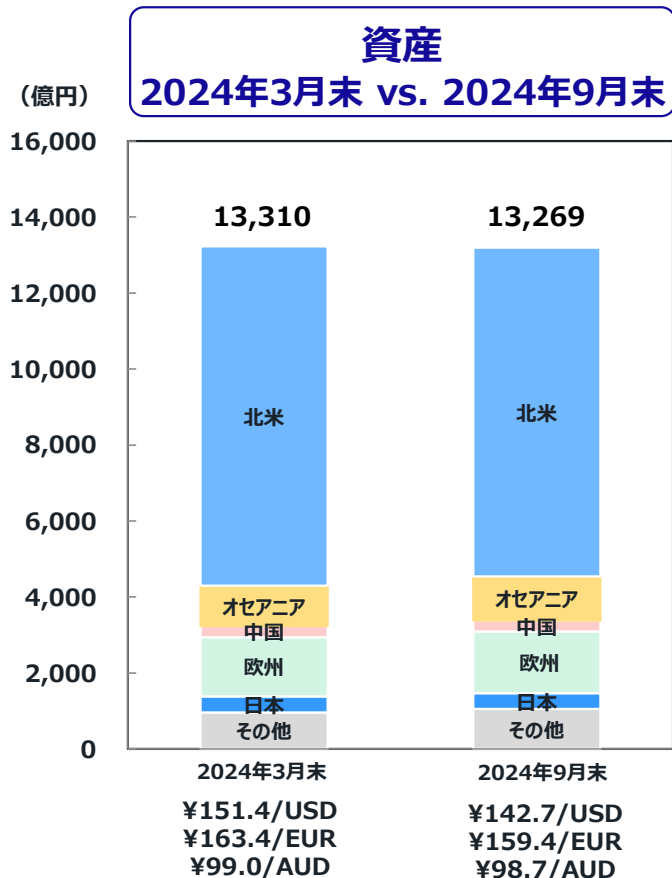
16.4%

売上高セグメント利益率

15.2%

<リテールファイナンス> 2024年度 上期 (4-9月) の状況

- 資産は、新規取組が増加したものの、前年度末比で当期末が円高となった影響により、前年度末比▲41億円の減少。
- 新規取組高は、円安によるプラス影響やファイナンス利用率の上昇により、前年同期比+878億円の増加。
- 売上高・セグメント利益は、受取金利率の上昇、円安によるプラス影響や金融債権の増加などにより、前年同期比+143億円の増収、+18億円の増益。



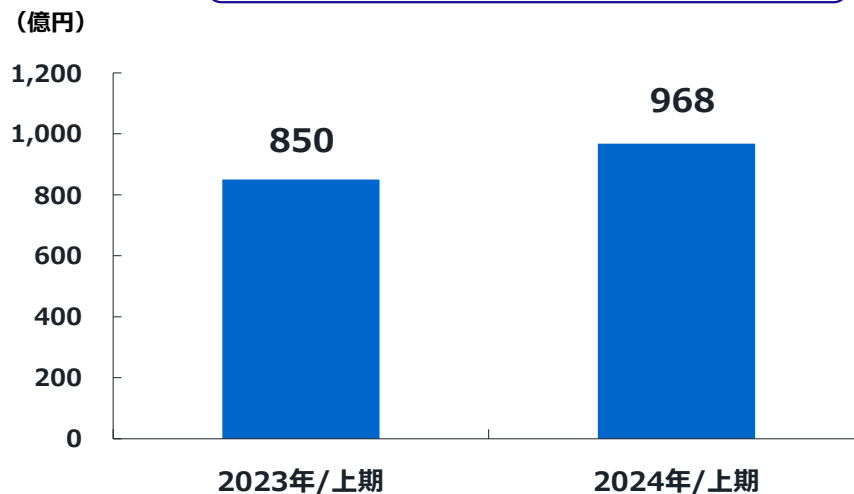
金額単位：億円	2024年3月末	2024年9月末	前年度末比
借入金	10,358	10,353	▲ 5
ネットベースの借入金	10,160	10,103	▲ 57
ネットD/Eレシオ	4.24	4.30	+0.06ポイント

＜産業機械他＞ 2024年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比+13.8%増収の968億円。セグメント利益は、前年同期比+77.3%増益の78億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、8.1%。

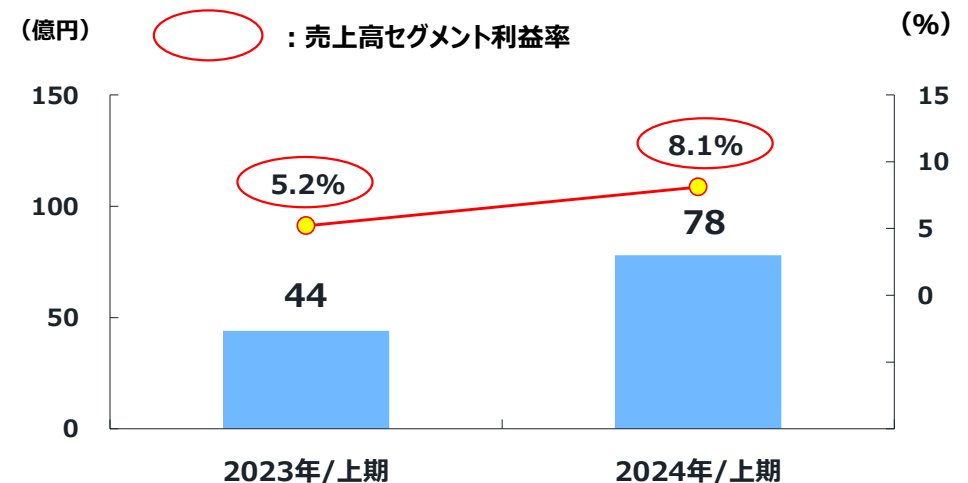
売上高

2023年/上期 vs. 2024年/上期



セグメント利益

2023年/上期 vs. 2024年/上期



売上高の内訳

(億円)	2023年/上期	2024年/上期	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	203	240	+37	+18.2%
コマツNTC	149	216	+67	+44.8%
ギガフォトン	267	275	+7	+2.7%
その他	231	237	+6	+2.6%
合計	850	968	+117	+13.8%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比▲780億円減少の5兆5,586億円。主に前年度末比で当期末が円高となった影響により減少。
- ・棚卸資産は、主に鉱山機械向けの在庫増により増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲1.0ポイント低下し52.8%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2024年3月末 ¥151.4/USD ¥163.4/EUR ¥99.0/AUD	2024年9月末 ¥142.7/USD ¥159.4/EUR ¥98.7/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	4,032	4,095	+64
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	19,518	18,641	▲ 877
棚卸資産	14,387	14,567	+180
有形固定資産	9,081	8,896	▲ 184
その他資産	9,349	9,387	+37
資産合計	56,367	55,586	▲ 780
支払手形・買掛金	3,203	3,149	▲ 54
借入金・社債 [b]	11,994	12,545	+551
その他負債	9,185	8,884	▲ 301
負債合計	24,382	24,578	+196
（株主資本比率）	（53.8%）	（52.8%）	（▲1.0ポイント）
株主資本	30,336	29,355	▲ 980
非支配持分	1,649	1,653	+4
負債及び純資産合計	56,367	55,586	▲ 780
● ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	○ 0.26 7,962	○ 0.29 8,449	+488
● ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○ ▲0.08	○ ▲0.06	

Ⅱ. 2024年度の業績見通し

2024年度の業績見通し（概要）

- ・売上高は、前年比+3.2%増収の3兆9,880億円（4月公表から+1,270億円上方修正）。
- ・営業利益は、前年比▲5.6%減益の5,730億円（4月公表から+160億円上方修正）。
- ・1株当たり配当金は、167円（4月見通しから変更無し）。

(※) 下期為替の前提：1ドル:140円、1ユーロ:149円、1豪ドル:90円

金額単位：億円	2023年度 (A) ¥144.3/USD ¥156.0/EUR ¥94.7/AUD	2024年度 (最新見通し) (B) ¥147.0/USD ¥157.8/EUR ¥95.8/AUD } (※)	2024年度 (4月見通し) ¥140.0/USD ¥149.0/EUR ¥90.0/AUD	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
売上高	38,651	39,880	38,610	+1,229	+3.2%
セグメント利益	6,057	5,950	5,850	▲ 107	▲1.8%
その他の営業収益(▲費用)	15	▲ 220	▲ 280	▲ 236	-
営業利益	6,072	5,730	5,570	▲ 342	▲5.6%
売上高営業利益率	15.7%	14.4%	14.4%	▲1.3ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 315	▲ 410	▲ 390	▲ 94	-
税引前当期純利益	5,757	5,320	5,180	▲ 436	▲7.6%
当社株主に帰属する当期純利益	3,934	3,760	3,470	▲ 174	▲4.4%
ROE	14.1%	12.6%	11.7%	▲1.5ポイント	
1株当たり配当金（円）	167円	167円	167円	±0円	
連結配当性向	40.1%	41.2%	45.5%		

営業利益への為替感応度（1円変動/年）
 USD：40億円
 EUR：5億円
 AUD：4億円

2024年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- 建設機械・車両部門の売上高は、前年比+1.8%増収の3兆6,790億円。
セグメント利益は、前年比▲5.7%減益の5,410億円。セグメント利益率は、▲1.2ポイント低下し14.7%。
- リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+13.0%増収の1,170億円。セグメント利益は、前年比+9.3%増益の265億円。
- 産業機械他部門の売上高は、前年比+16.5%増収の2,280億円。セグメント利益は、前年比+133.8%増益の240億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年度 (A)		2024年度 (最新見通し) (B)		2024年度 (4月見通し)		前年比 (B) - (A)	
							増減	増減率
売上高	38,651		39,880		38,610		+1,229	+3.2%
建設機械・車両	(35,914)	36,152	(36,692)	36,790	(35,483)	35,530	(+779) +638	(+2.2%) +1.8%
リテールファイナンス	(809)	1,035	(929)	1,170	(858)	1,060	(+120) +135	(+14.8%) +13.0%
産業機械他	(1,928)	1,956	(2,258)	2,280	(2,269)	2,290	(+330) +324	(+17.0%) +16.5%
消去	▲ 492		▲ 360		▲ 270		+132	-
セグメント利益	15.7%	6,057	14.9%	5,950	15.2%	5,850	▲0.8ポイント ▲ 107	▲ 1.8%
建設機械・車両	15.9%	5,740	14.7%	5,410	15.1%	5,380	▲1.2ポイント ▲ 330	▲ 5.7%
リテールファイナンス	23.4%	242	22.7%	265	20.8%	220	▲0.7ポイント +23	+9.3%
産業機械他	5.3%	103	10.5%	240	12.2%	280	+5.2ポイント +137	+133.8%
消去または全社	▲ 28		35		▲ 30		+63	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量減のマイナス影響を、円安と販売価格改善のプラス影響が上回り増収。円安と販売価格改善のプラス影響があるものの、物量減とコスト増、構成差のマイナス影響により減益。

■ リテールファイナンス

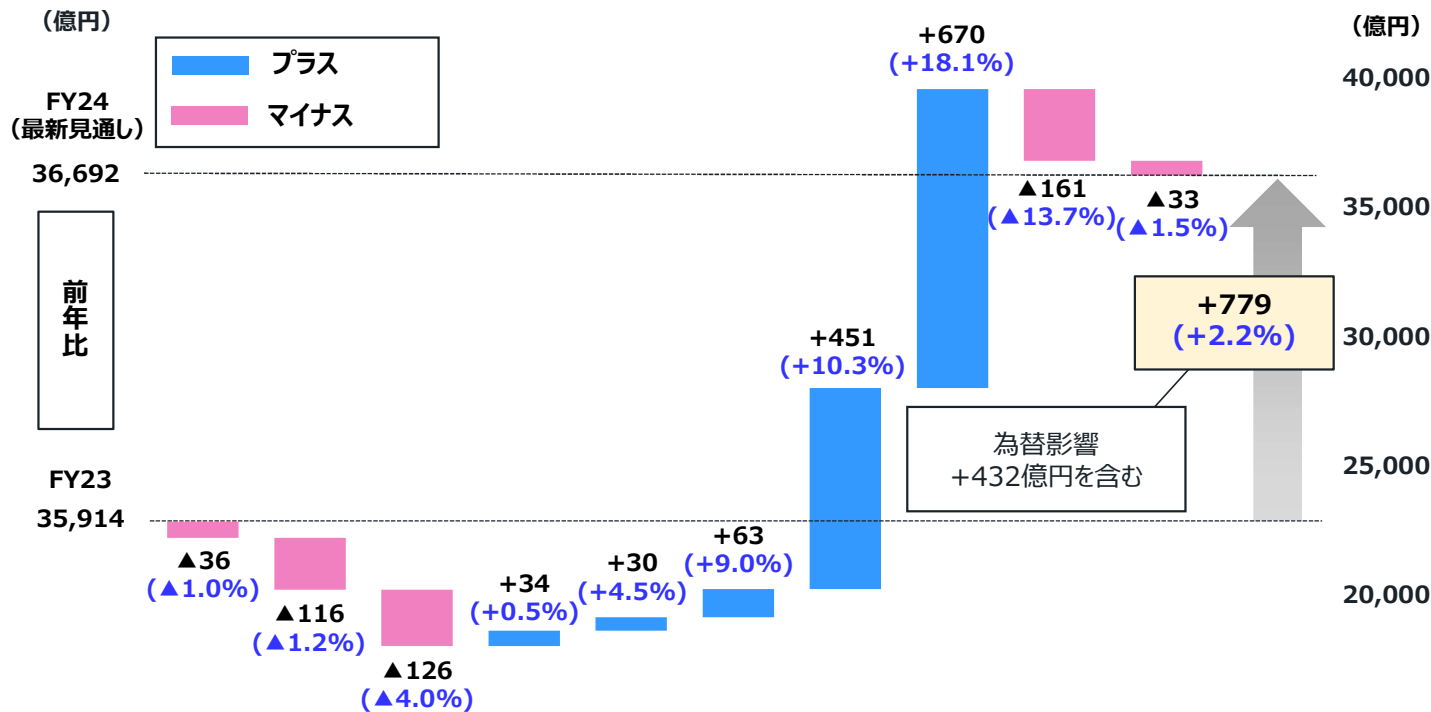
主に受取金利率の上昇により増収増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械、板金機械、工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上の回復により増収増益。

＜建設機械・車両＞2024年度地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

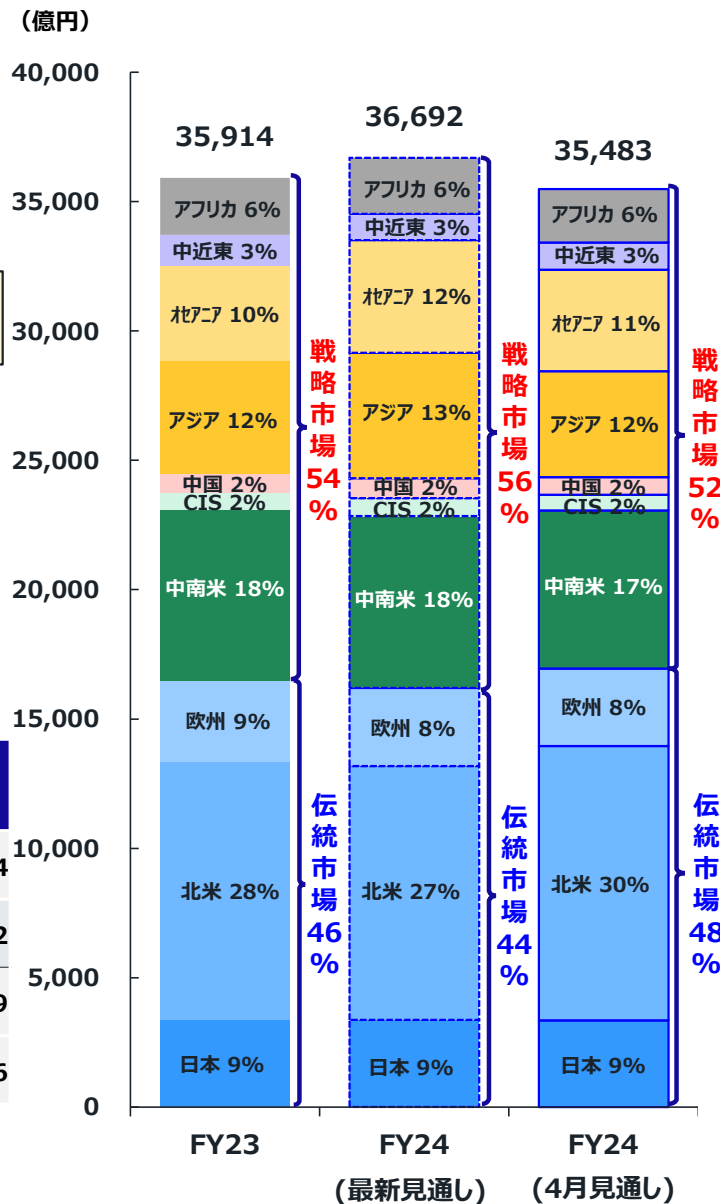
- ・外部顧客向け売上高は、前年比+2.2%増収の3兆6,692億円の見通し。
- ・インドネシアの需要回復で販売が増えるアジアや、鉱山機械の販売が増えるオセアニアなどで増加。
- ・北米、欧州、中近東などで減少。



（億円）	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2023年度	3,402	9,929	3,147	6,607	667	702	4,394	3,693	1,176	2,196	35,914
2024年度 (最新見通し)	3,367	9,814	3,021	6,642	697	765	4,845	4,363	1,016	2,163	36,692
増減	▲36	▲116	▲126	+34	+30	+63	+451	+670	▲161	▲33	+779
増減 (為替影響除き)	▲36	▲298	▲103	▲88	+28	+57	+443	+617	▲174	▲100	+346

伝統市場

戦略市場

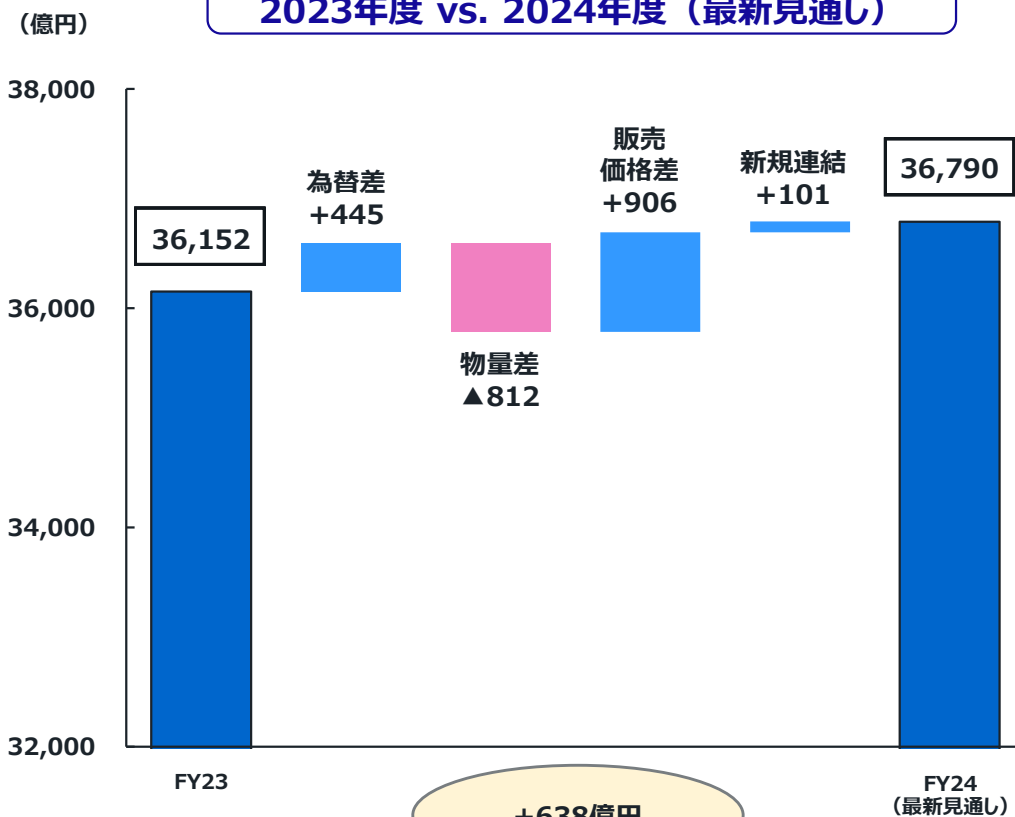


<建設機械・車両> 2024年度の売上高とセグメント利益の増減要因の見通し

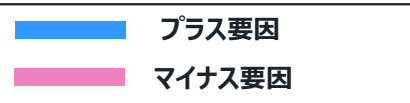
- ・売上高は、物量減のマイナス影響を、円安と販売価格改善のプラス影響が上回り、前年比+638億円の増収。
- ・セグメント利益は、円安と販売価格改善のプラス影響があるものの、物量減とコスト増、構成差のマイナス影響により、前年比▲330億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比▲1.2ポイント低下し14.7%。

売上高

2023年度 vs. 2024年度 (最新見通し)



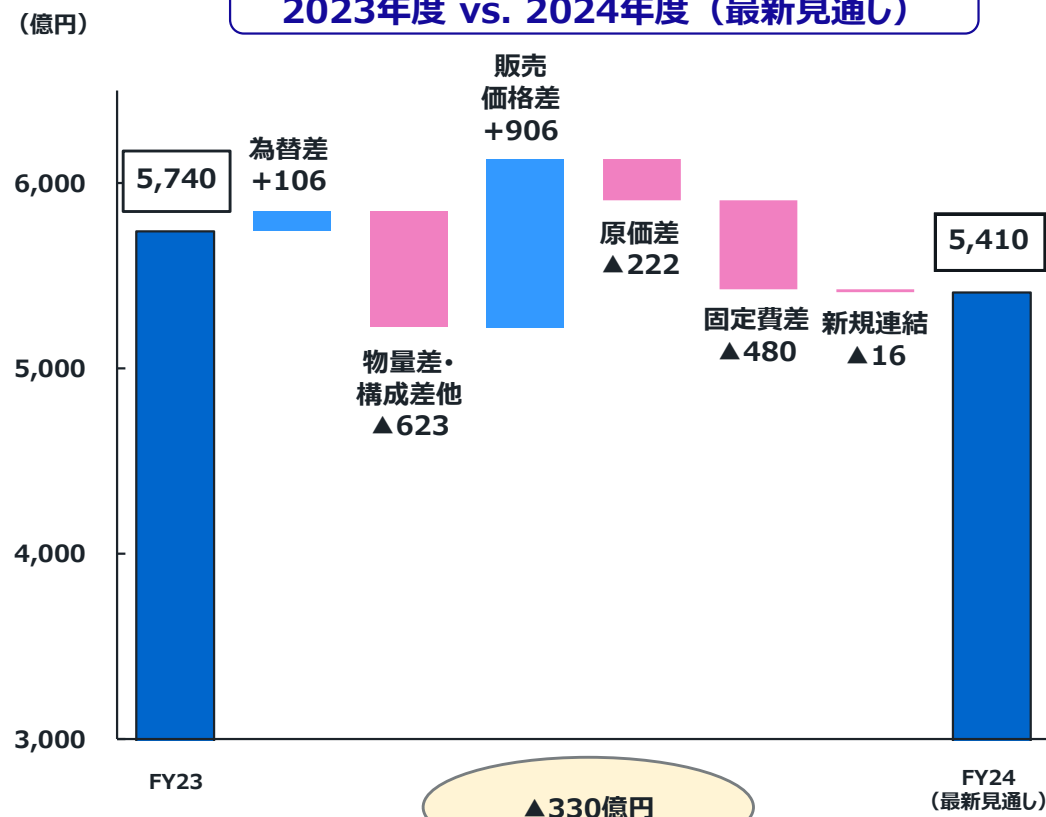
¥144.3/USD
¥156.0/EUR
¥94.7/AUD



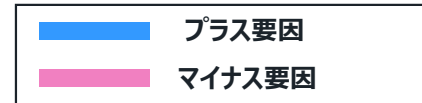
¥147.0/USD
¥157.8/EUR
¥95.8/AUD

セグメント利益

2023年度 vs. 2024年度 (最新見通し)



15.9%

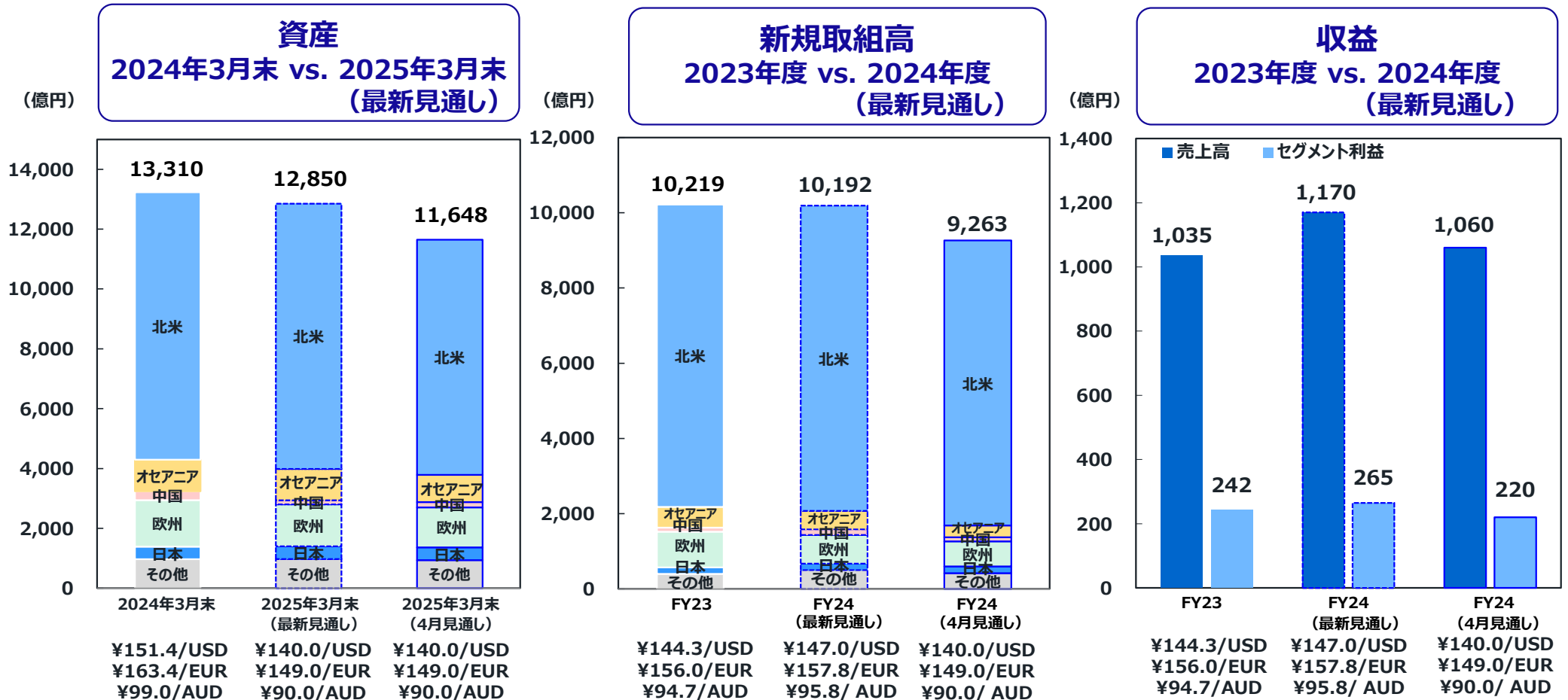


売上高セグメント利益率

14.7%

<リテールファイナンス> 2024年度の見通し

- ・資産は、主に前年度末比で当年度末を円高と見込む影響により、前年度末比▲460億円の減少の見通し。
- ・新規取組高は、前年比▲27億円の減少の見通し。
- ・売上高・セグメント利益は、主に受取金利率の上昇により、前年比+135億円の増収、+23億円の増益の見通し。



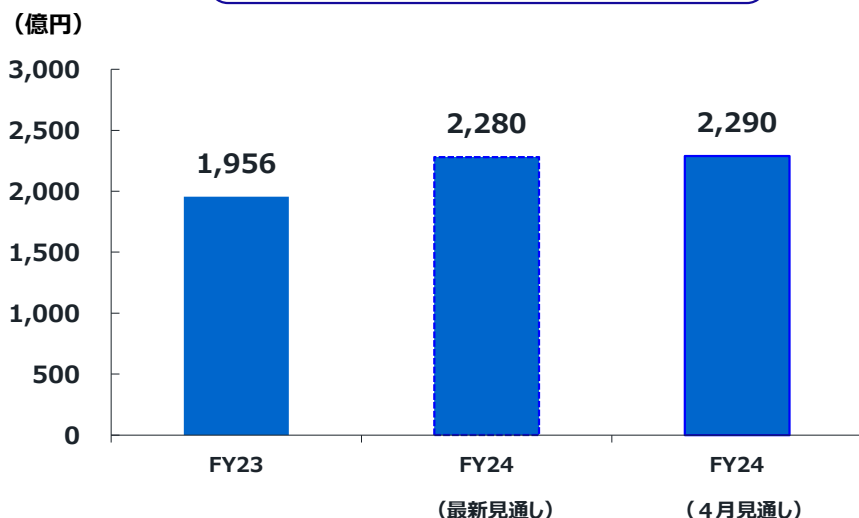
金額単位：億円	2024年3月末 (A)	2025年3月末 (最新見通し) (B)	2025年3月末 (4月見通し)	前年度末比 (B) - (A)
借入金	10,358	10,143	8,948	▲ 215
ネットベースの借入金	10,160	10,045	8,807	▲ 115
ネットD/Eレシオ	4.24	4.40	3.67	+0.16ポイント

	2023年度 (A)	2024年度 (最新見通し) (B)	2024年度 (4月見通し)	前年比 (B) - (A)
ROA	2.0%	2.0%	1.9%	±0.0ポイント

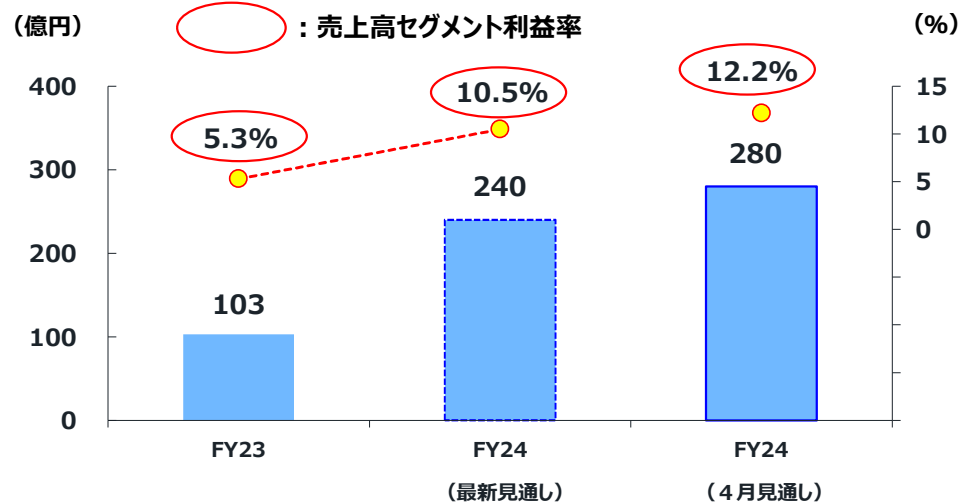
<産業機械他> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し

- ・売上高は、前年比+16.5%増収の2,280億円。セグメント利益は、前年比+133.8%増益の240億円となる見通し。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上の回復などにより増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、10.5%となる見通し。

売上高
2023年度 vs. 2024年度
(最新見通し)



セグメント利益
2023年度 vs. 2024年度
(最新見通し)



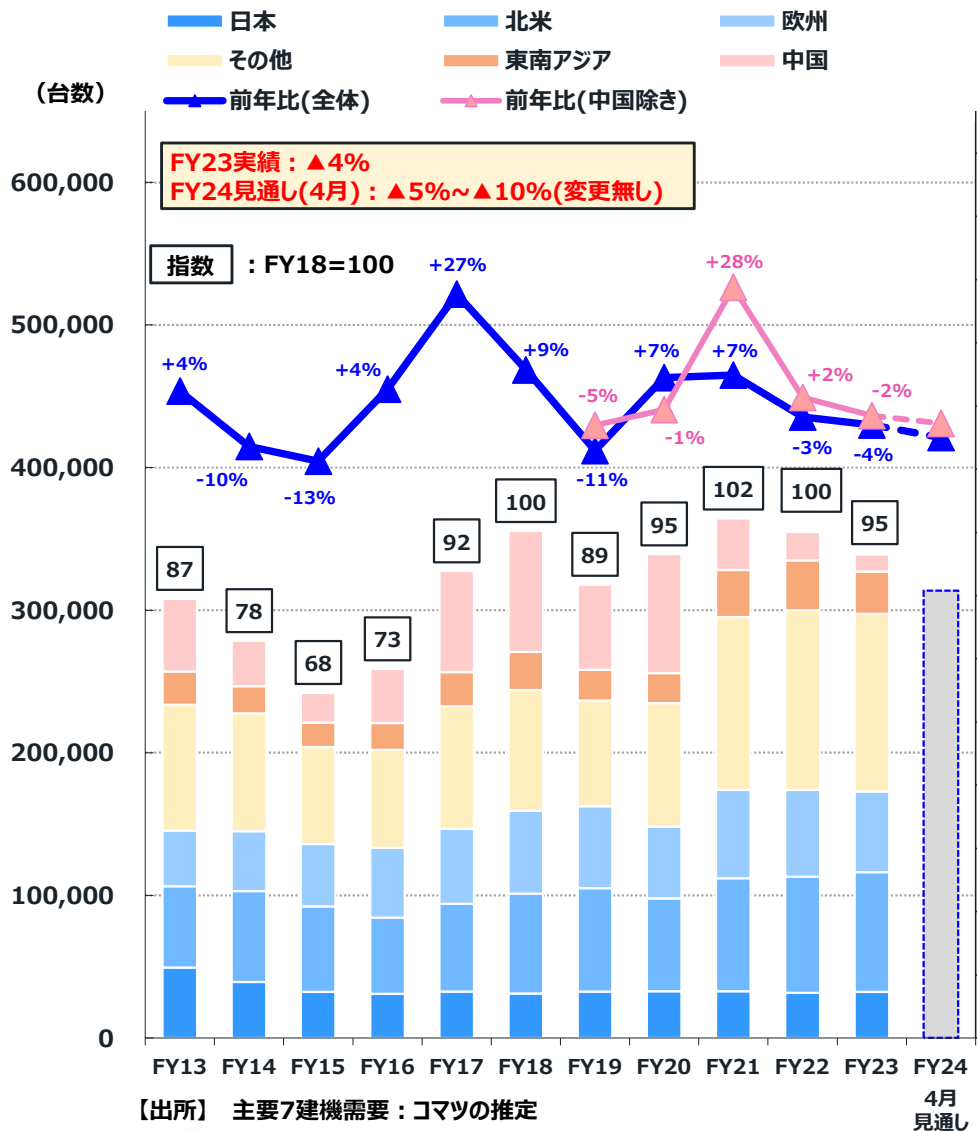
売上高の内訳

(億円)	2023年度 (A)	2024年度 (最新見通し) (B)	2024年度 (4月見通し)	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
コマツ産機	500	569	556	+69	+13.8%
コマツNTC	419	494	449	+75	+18.0%
ギガフォトン	556	610	688	+54	+9.7%
その他	481	606	597	+125	+26.0%
合計	1,956	2,280	2,290	+324	+16.5%

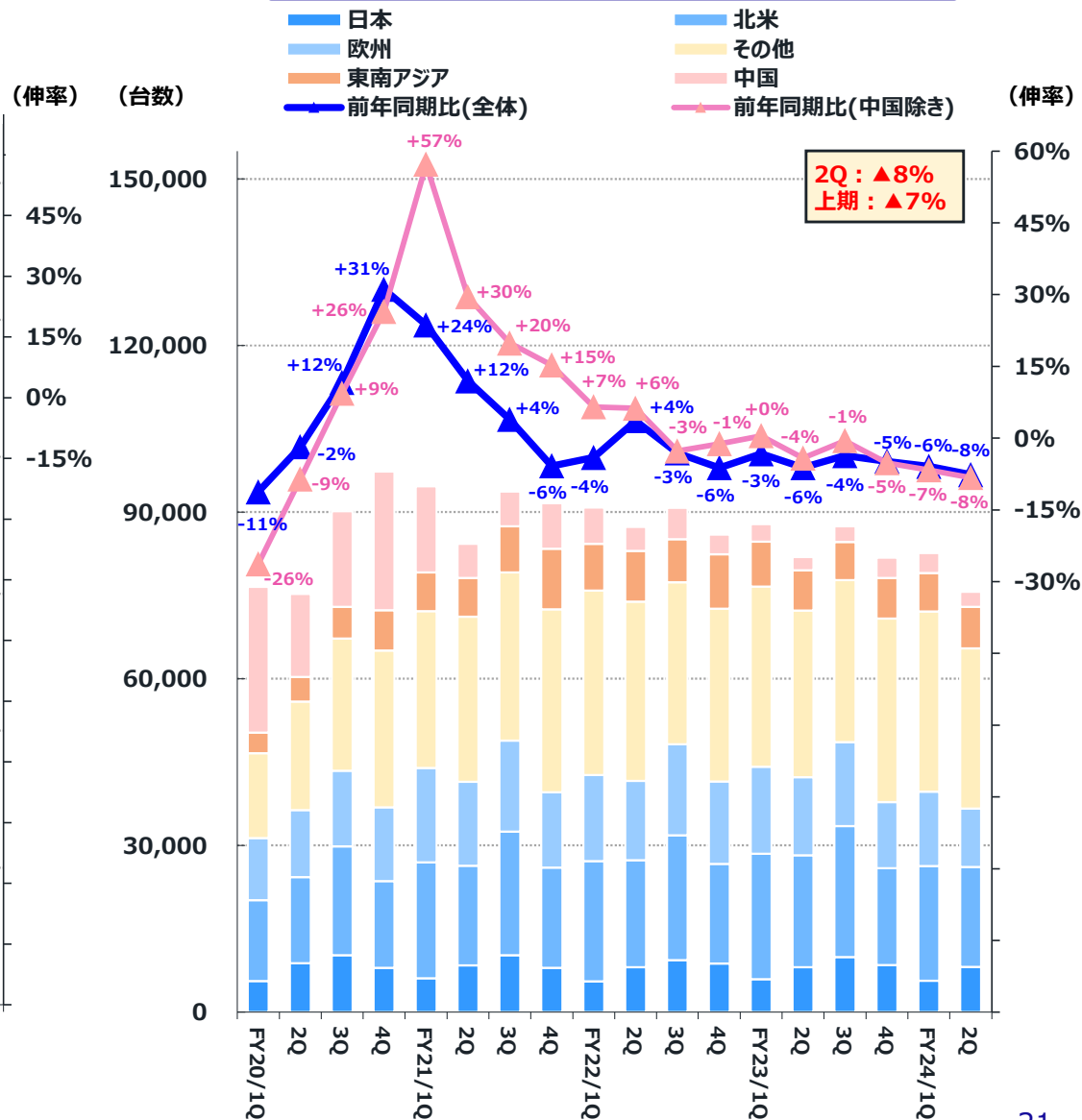
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比▲8%の減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移



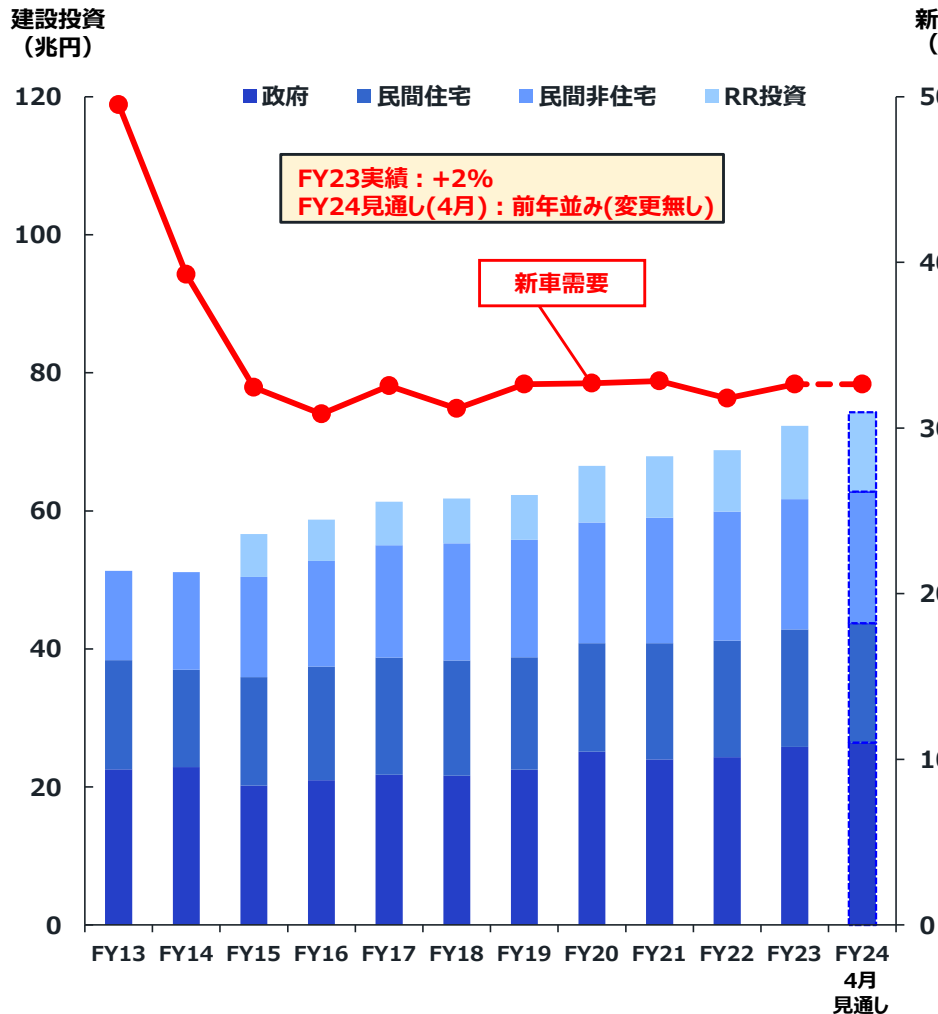
主要7建機 四半期別需要推移



〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

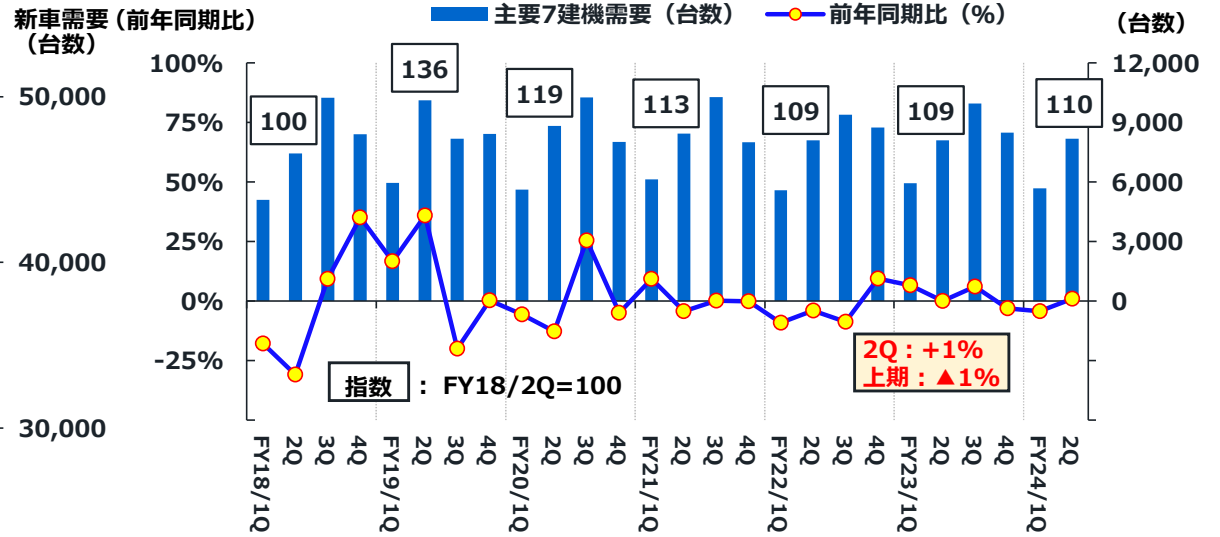
- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比+1%の増加。
- ・2024年度の需要は、前年並みの見通し（4月見通しから変更無し）。

新車需要（主要7建機）と建設投資

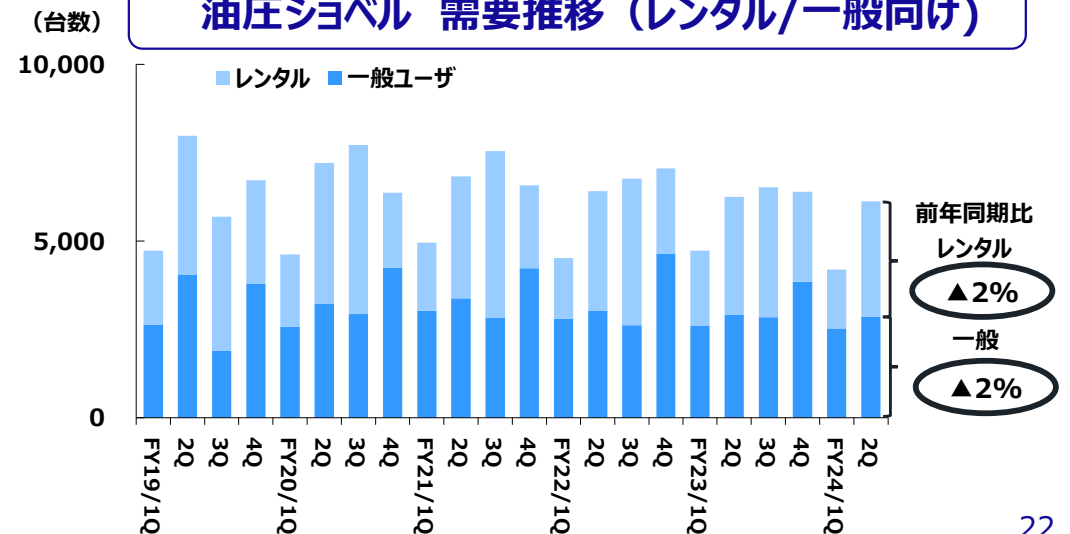


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

主要7建機 四半期別需要推移



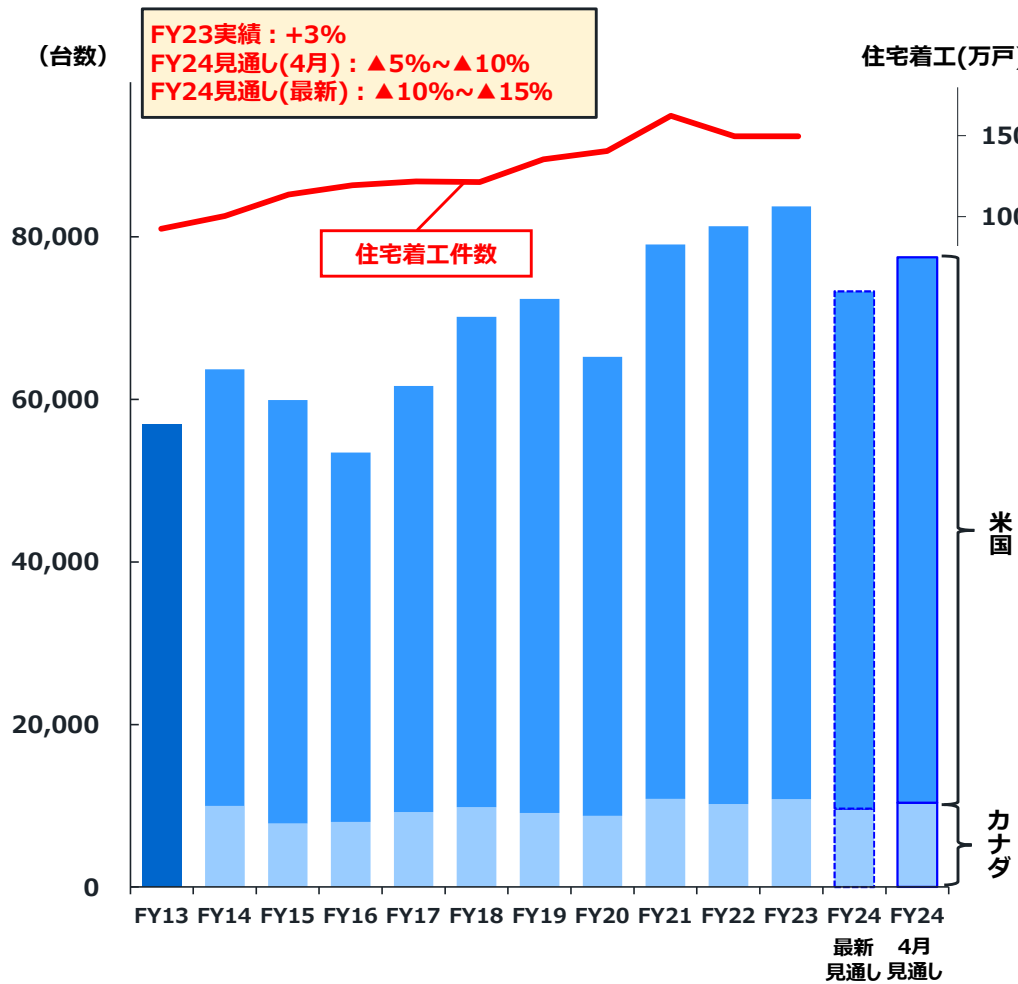
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



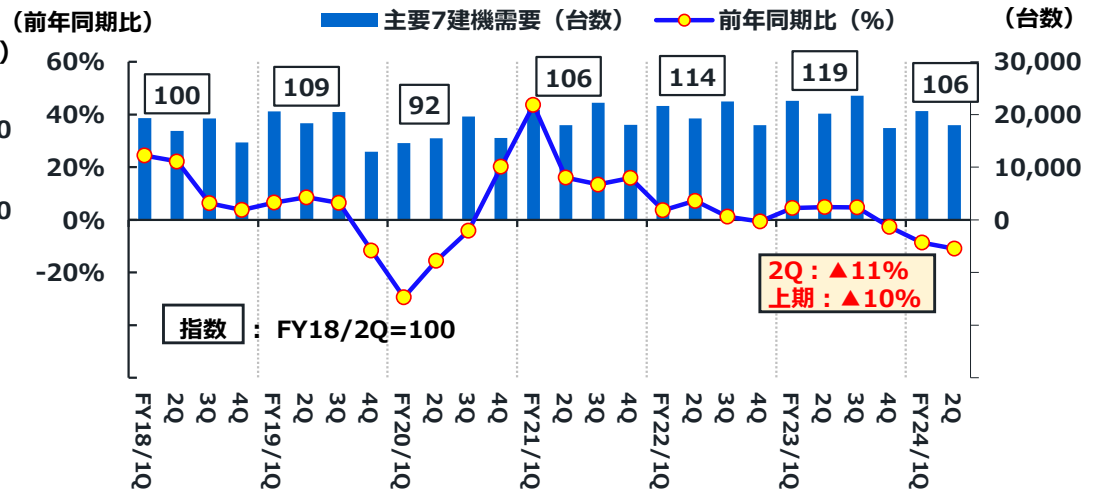
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比▲11%の減少。一般建機では、レンタル、エネルギー向け需要が減少したものの、インフラ向け需要は堅調に推移。
- ・2024年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（4月見通しより変更）。

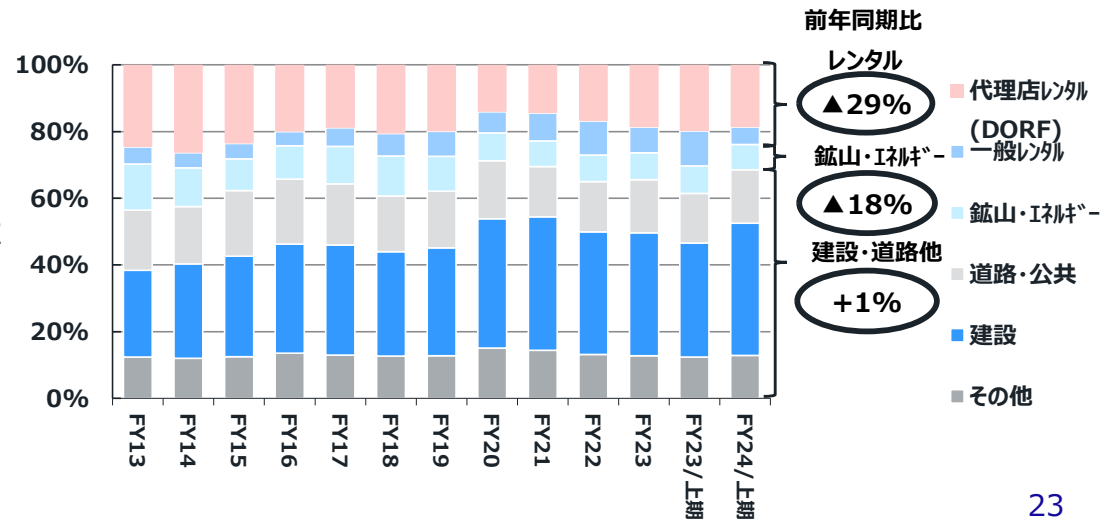
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移



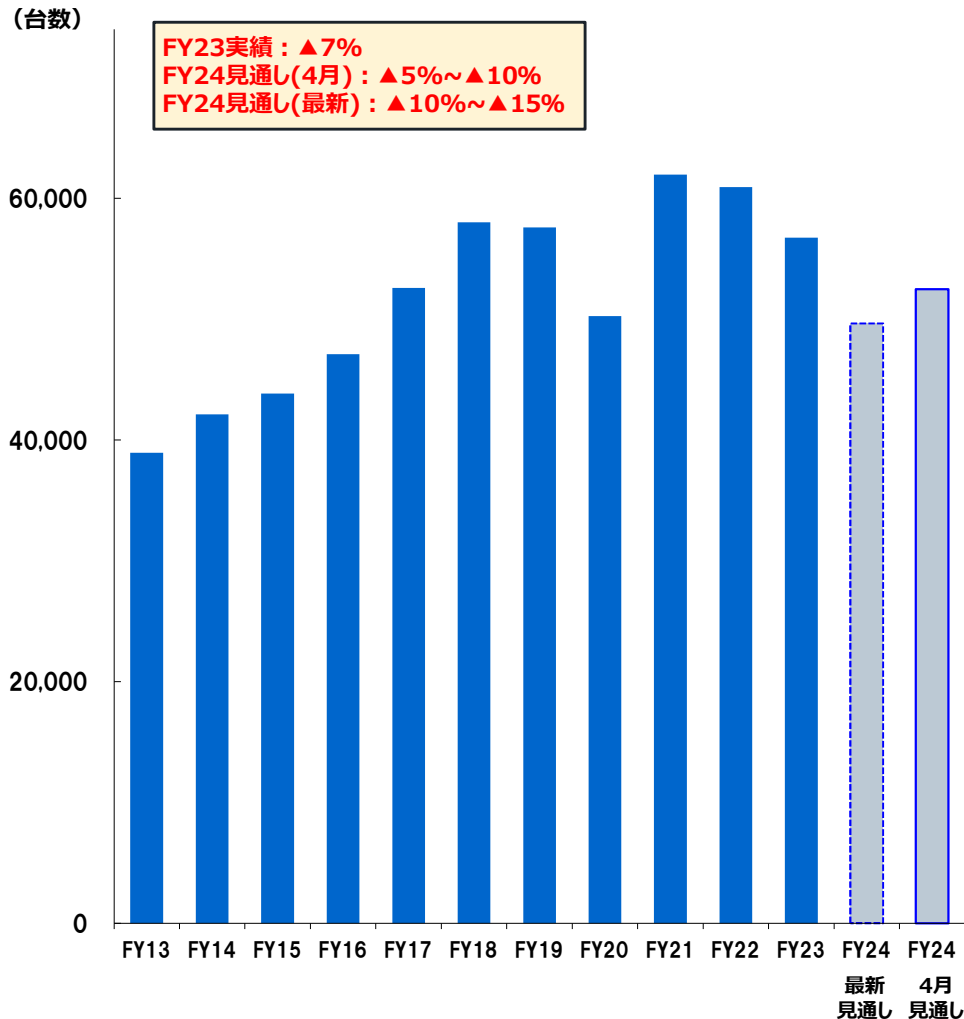
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



＜建設機械・車両＞主要市場の需要推移と見通し：③欧州

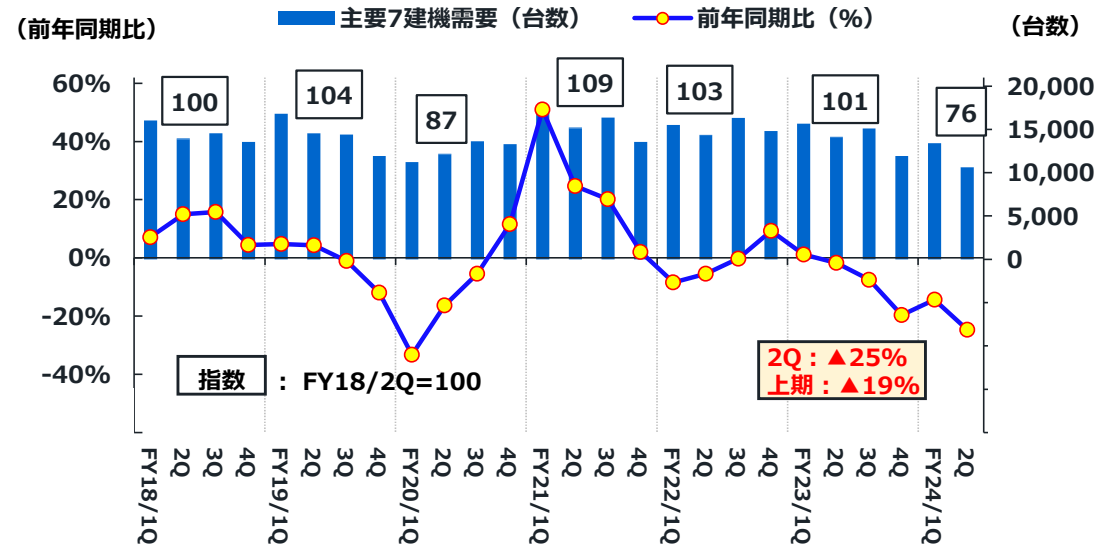
- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比▲25%の減少。エネルギー価格高止まりなどの影響で、主要市場のドイツ、英国、フランスを中心に一般建機の需要が減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（4月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移

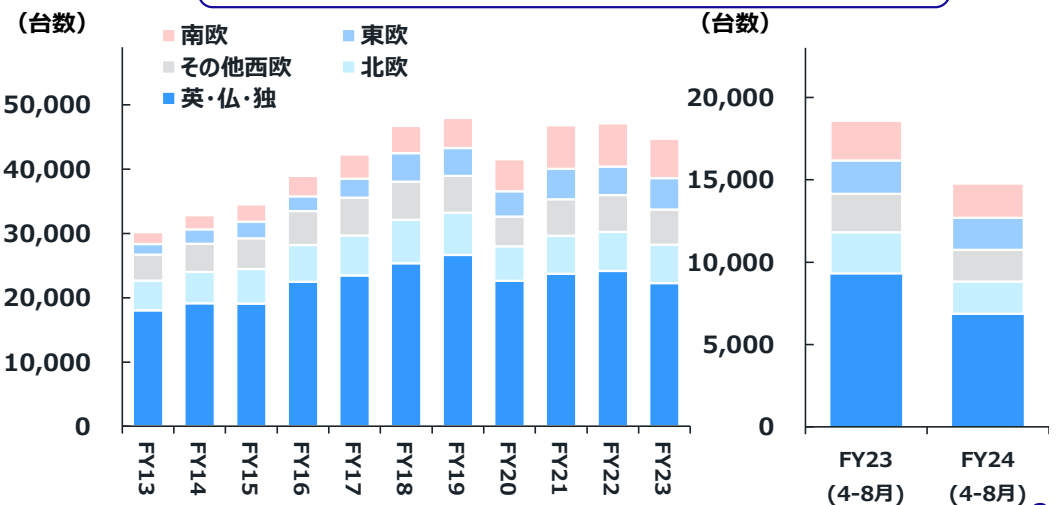


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



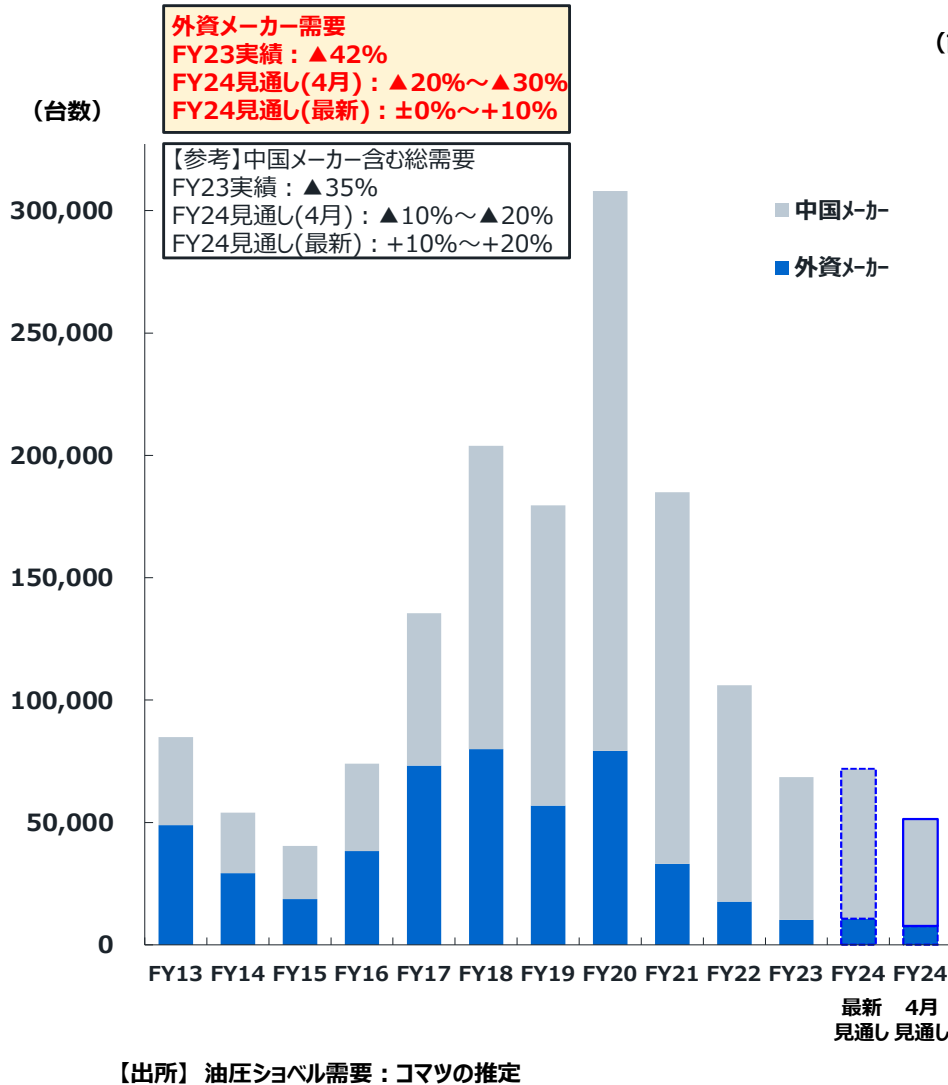
主要7建機（6クラス除く）地域別需要



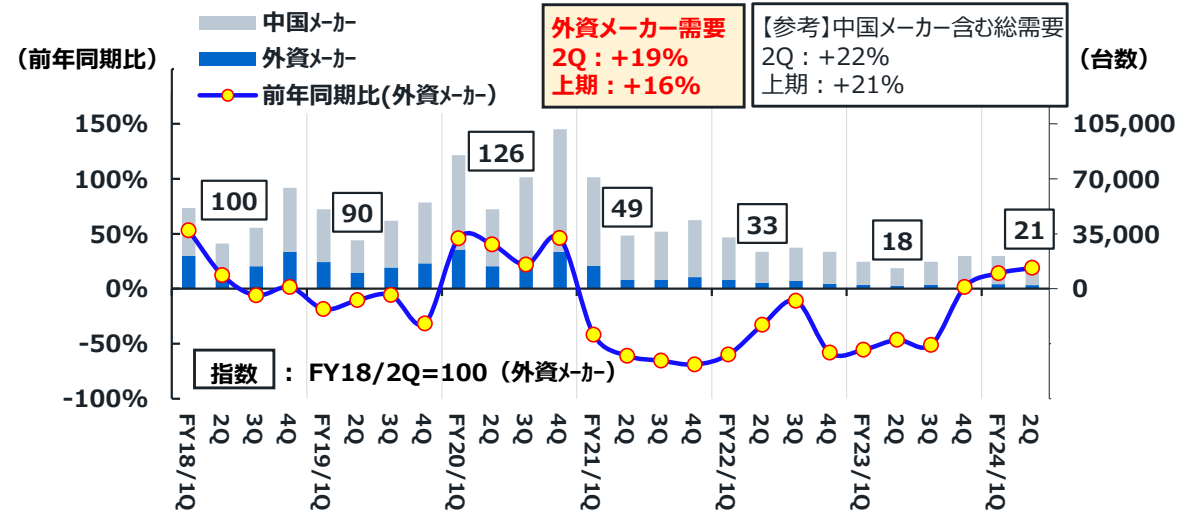
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：④中国

- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比+19%の増加。需要の反転は見られるものの、不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞する状況が継続。
- ・2024年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（4月見通しより変更）。

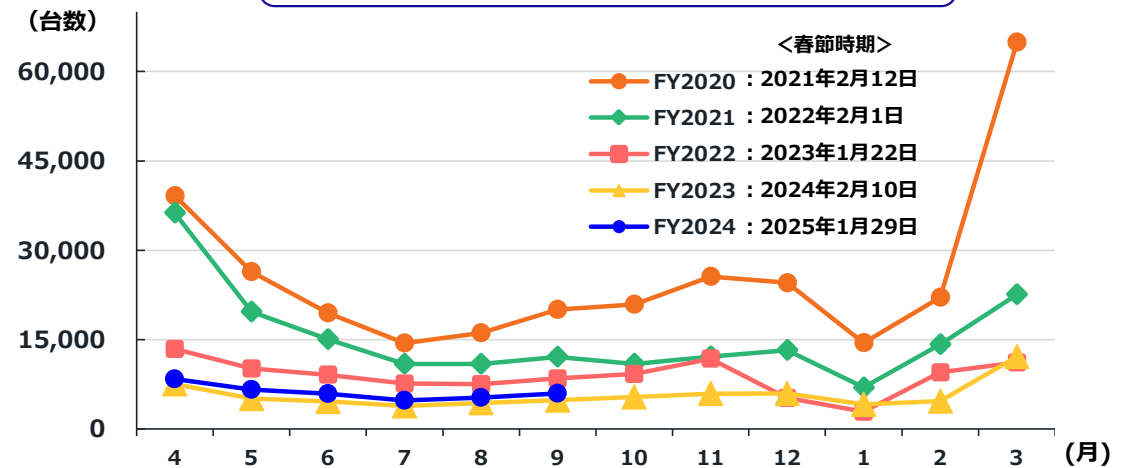
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



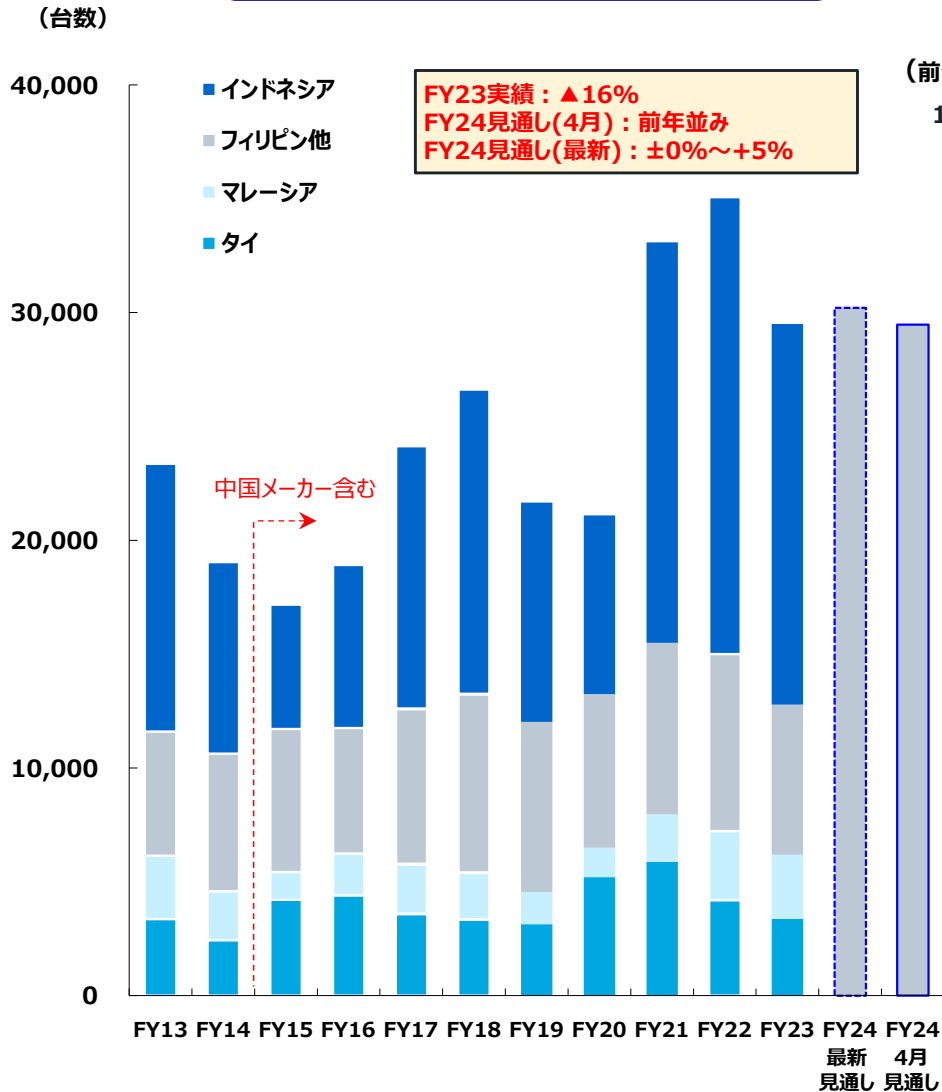
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

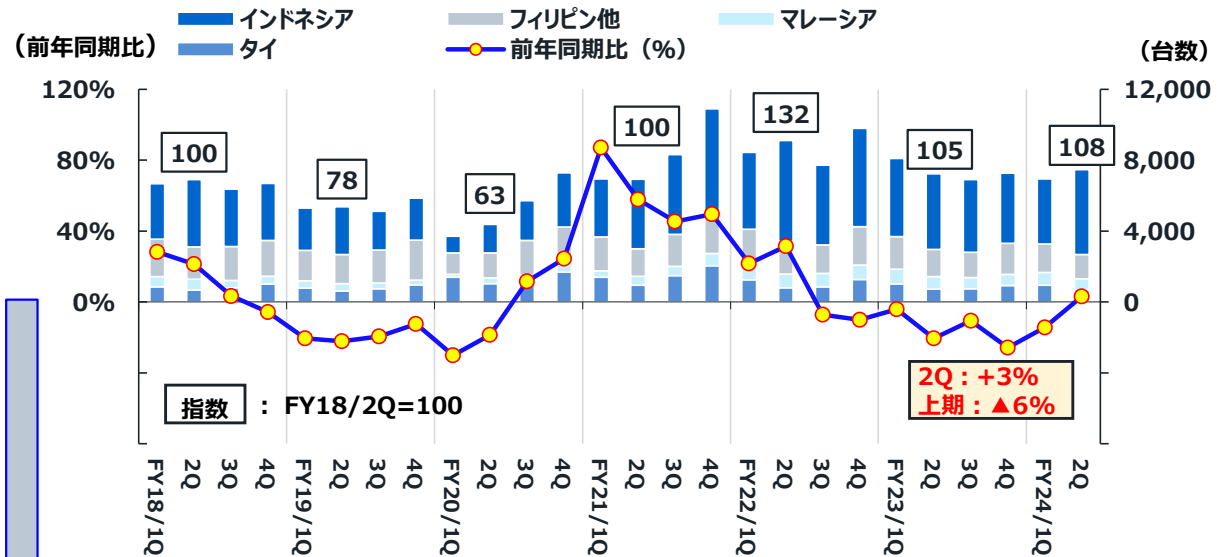
- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。インドネシアは一般建機、鉱山機械とも需要が増加、インドネシア以外の各国は政治の混乱、資源や木材価格の下落などにより需要が減少。
- ・2024年度の需要は、±0%～+5%の見通し（4月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移

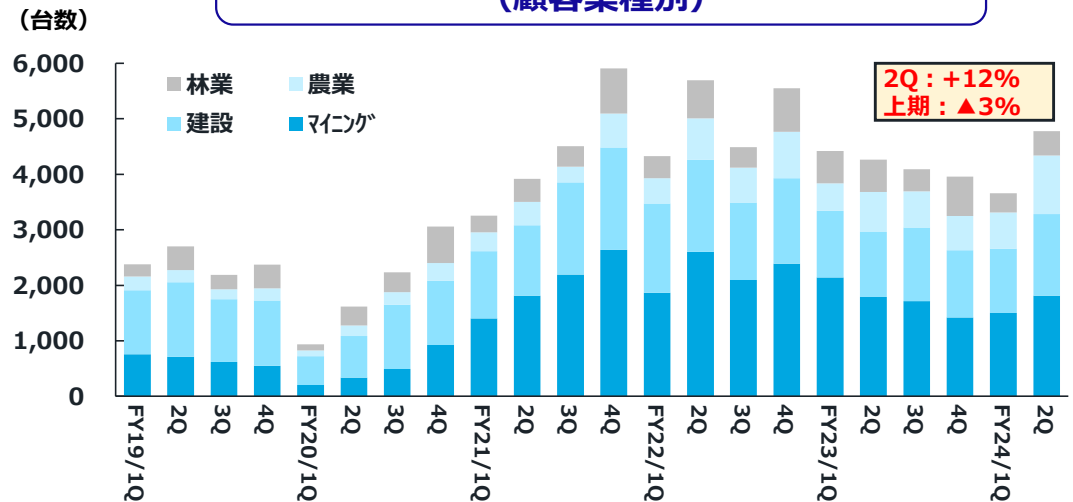


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

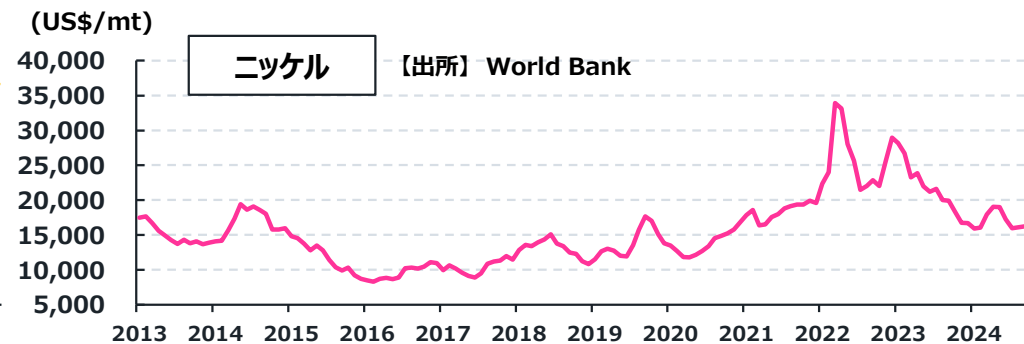
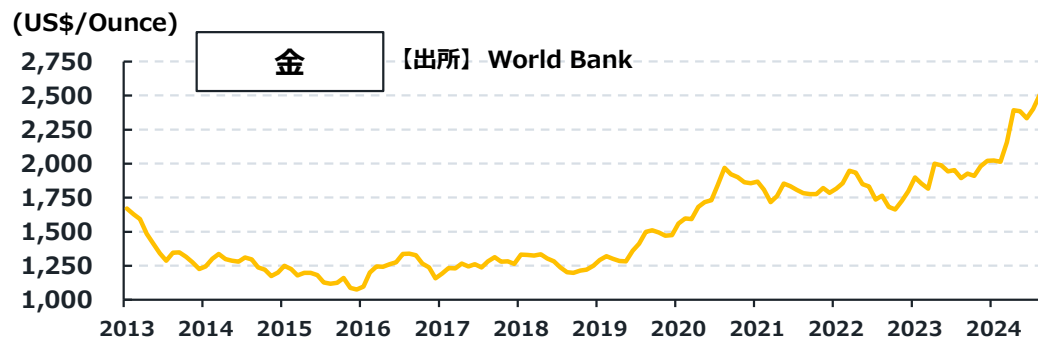
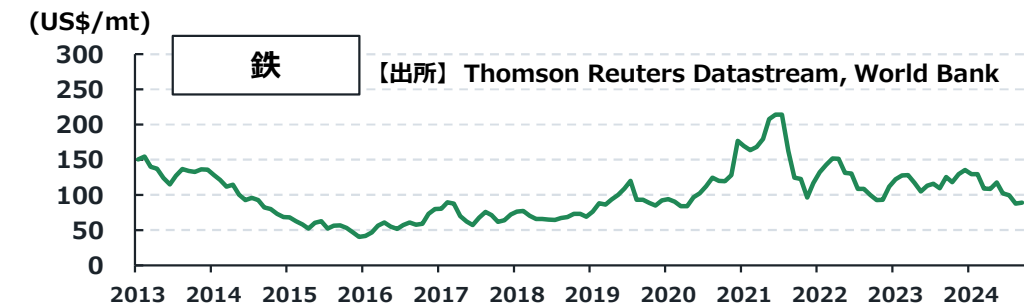
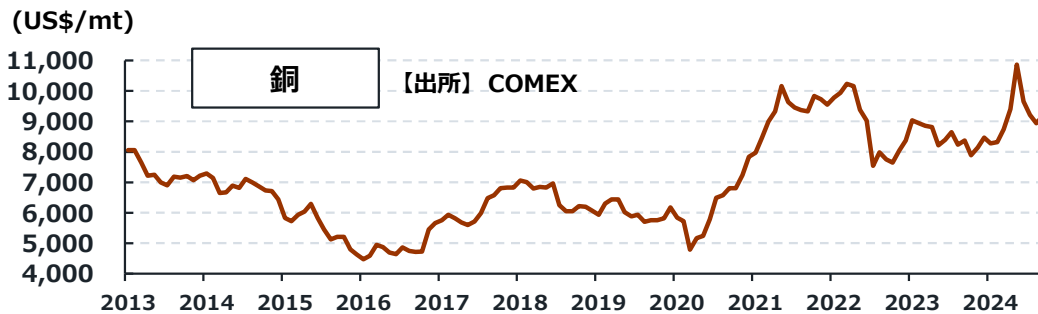
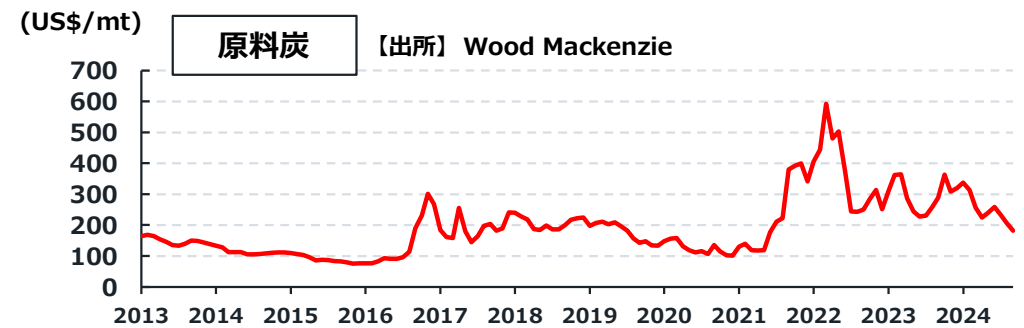
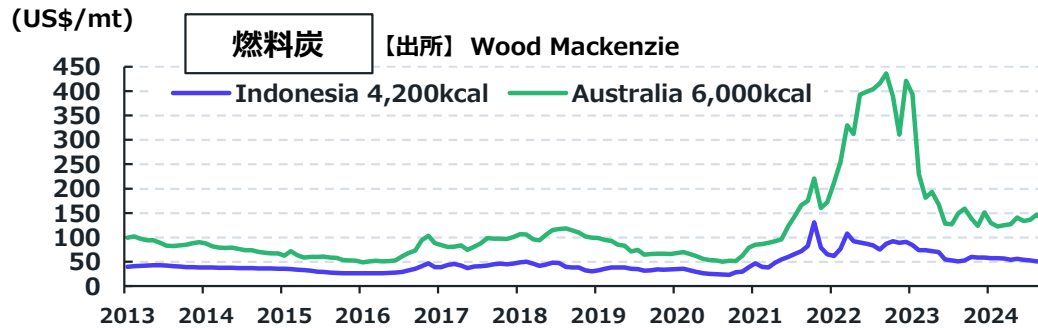


インドネシア：建設・鉱山機械需要推移（顧客業種別）



＜建設機械・車両＞ 主要鉱物の価格推移と見通し

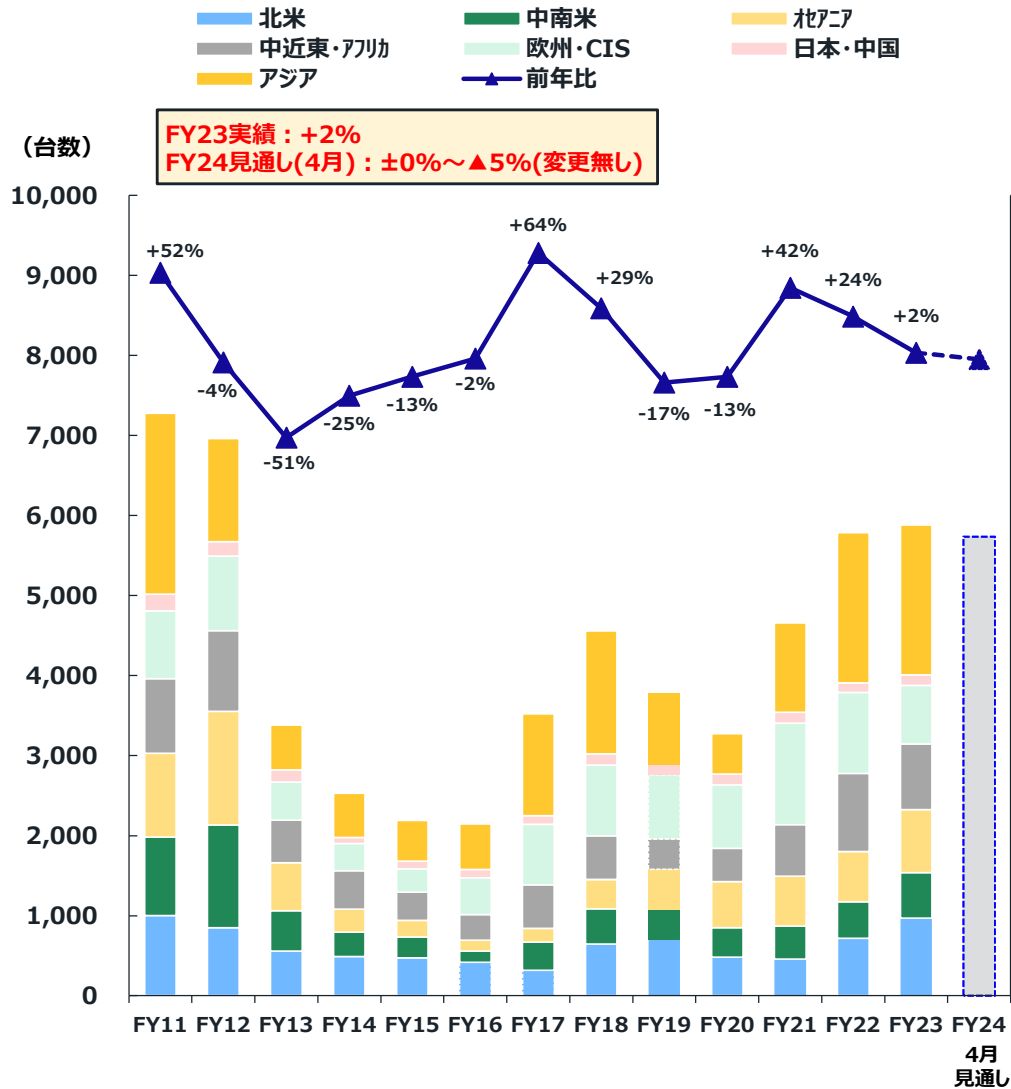
- ・主要鉱物の価格は、足元での上下はあるものの、長期的に見ると高値の水準を維持。
- ・燃料炭は、豪州は水準を維持、インドネシアは長期的には緩やかに下落の見通しも、2024年は現在の水準を維持する見通し。
- ・原料炭/鉄鉱石は、中国での需要減はあるが、価格は下げ止まりの傾向。
- ・銅は、EV伸長と将来の需給バランス懸念による価格上下あり。2024年は高位で推移する見通し。



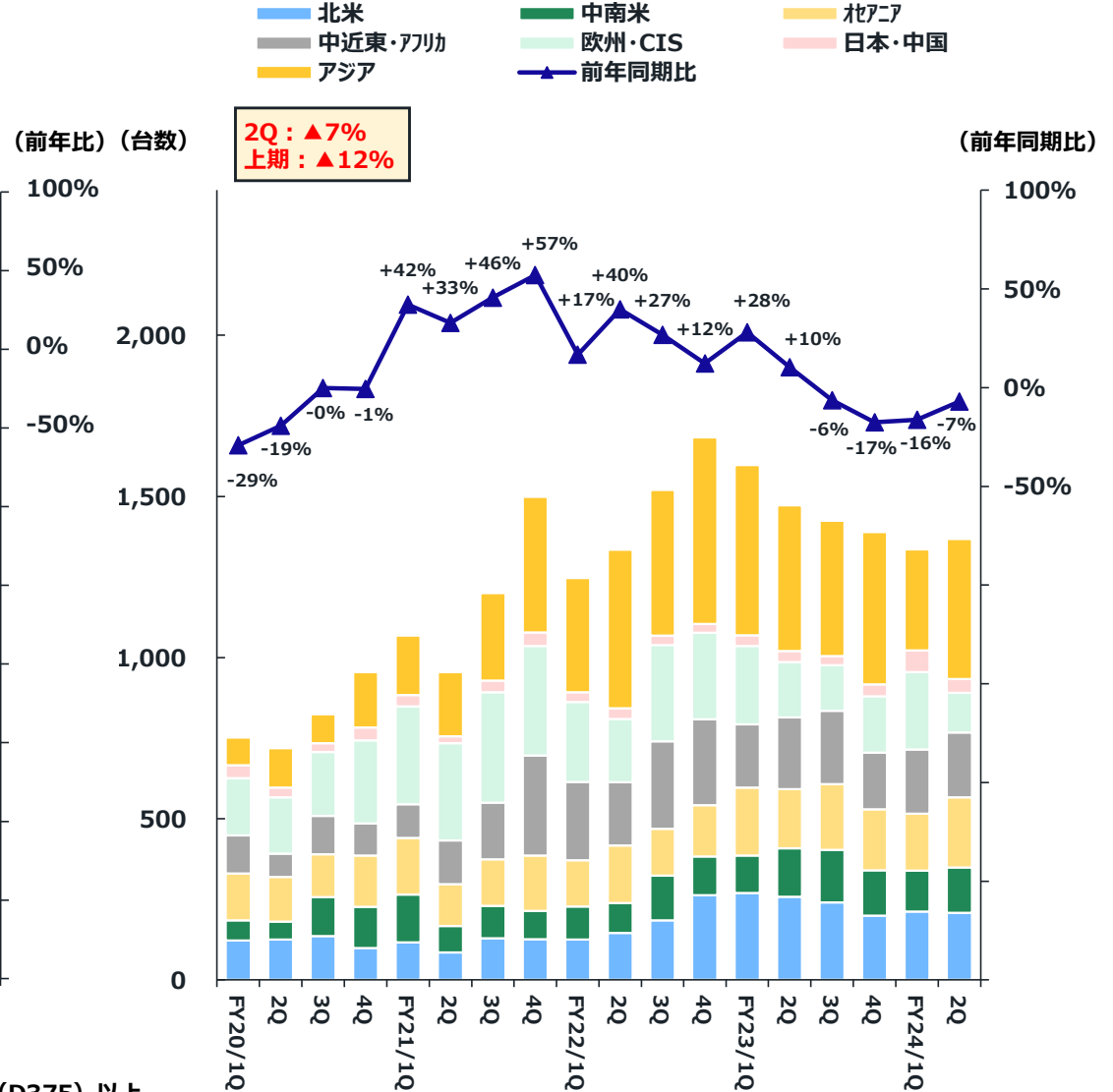
<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2024年度第2四半期の需要は、前年同期比▲7%の減少。
- ・2024年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移



鉱山機械 四半期別需要推移

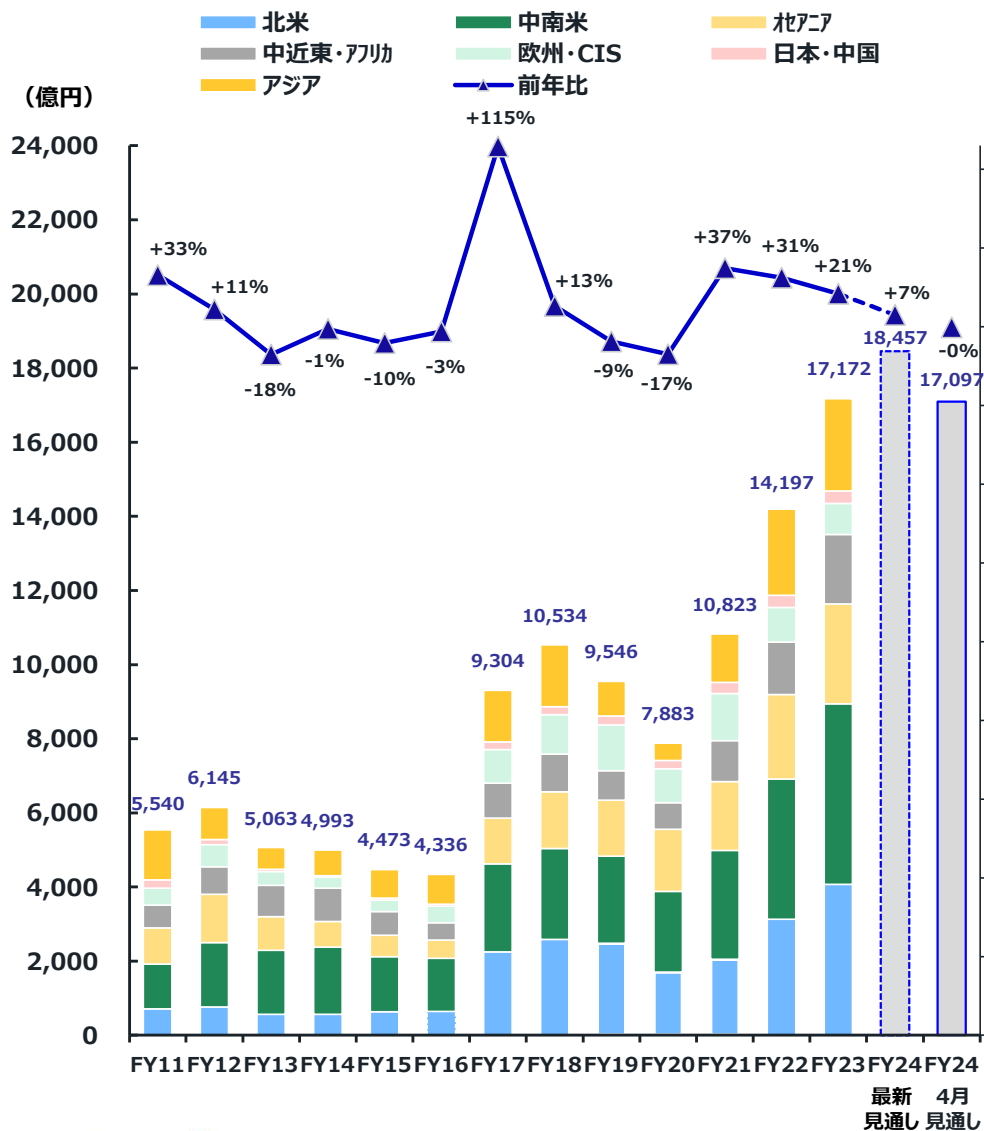


【出所】 コマツの推定
 ・ダンプトラック: 75t (HD785) 以上
 ・ブルドーザ: 525HP (D375) 以上
 ・エクスカバータ: 200t (PC2000) 以上
 ・ホイールダ: 810HP (WA800) 以上
 ・モータグレーダ: 280HP (GD825) 以上

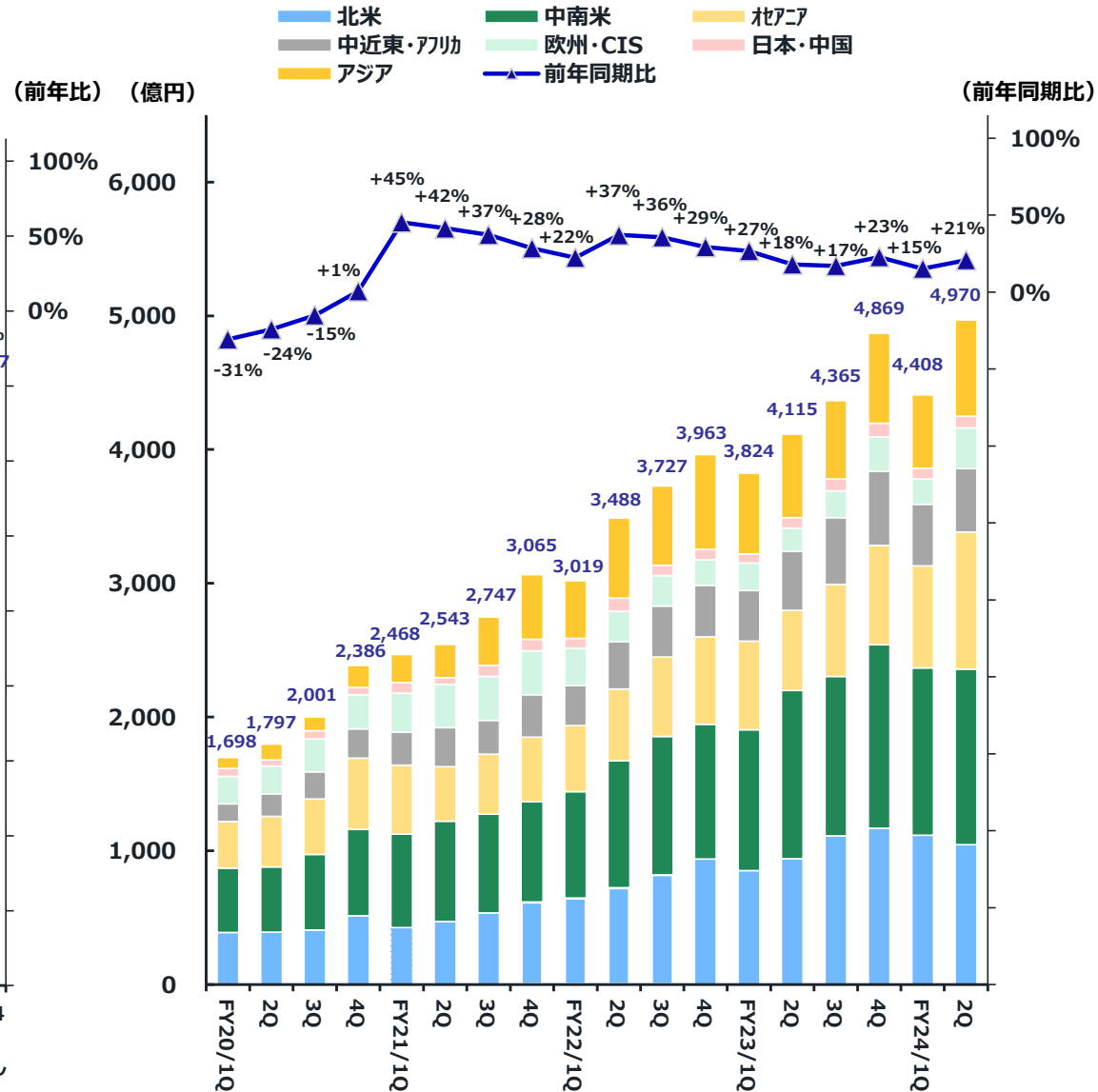
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2024年度第2四半期の売上高は、前年同期比+21%増収の4,970億円。
- ・2024年度の売上高は、前年比+7%増収の1兆8,457億円の見通し（4月見通しより変更）。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



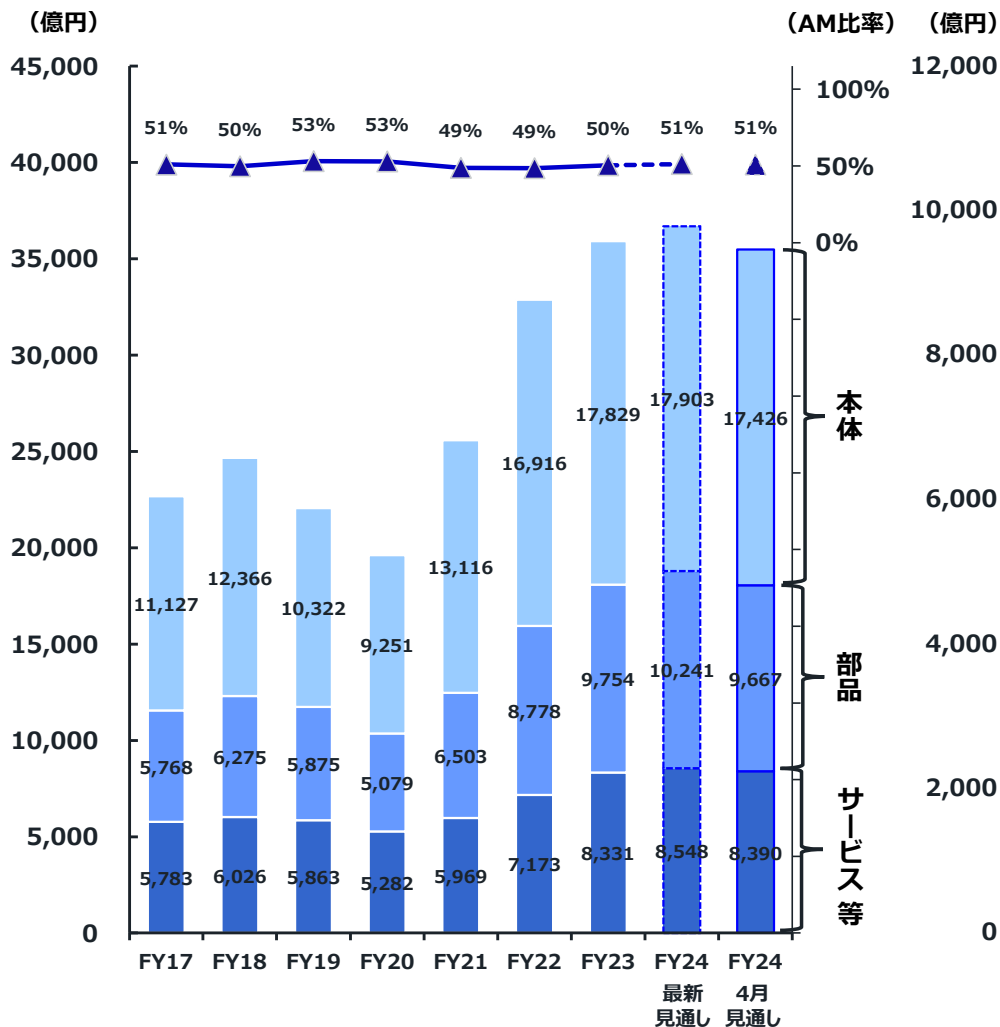
鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



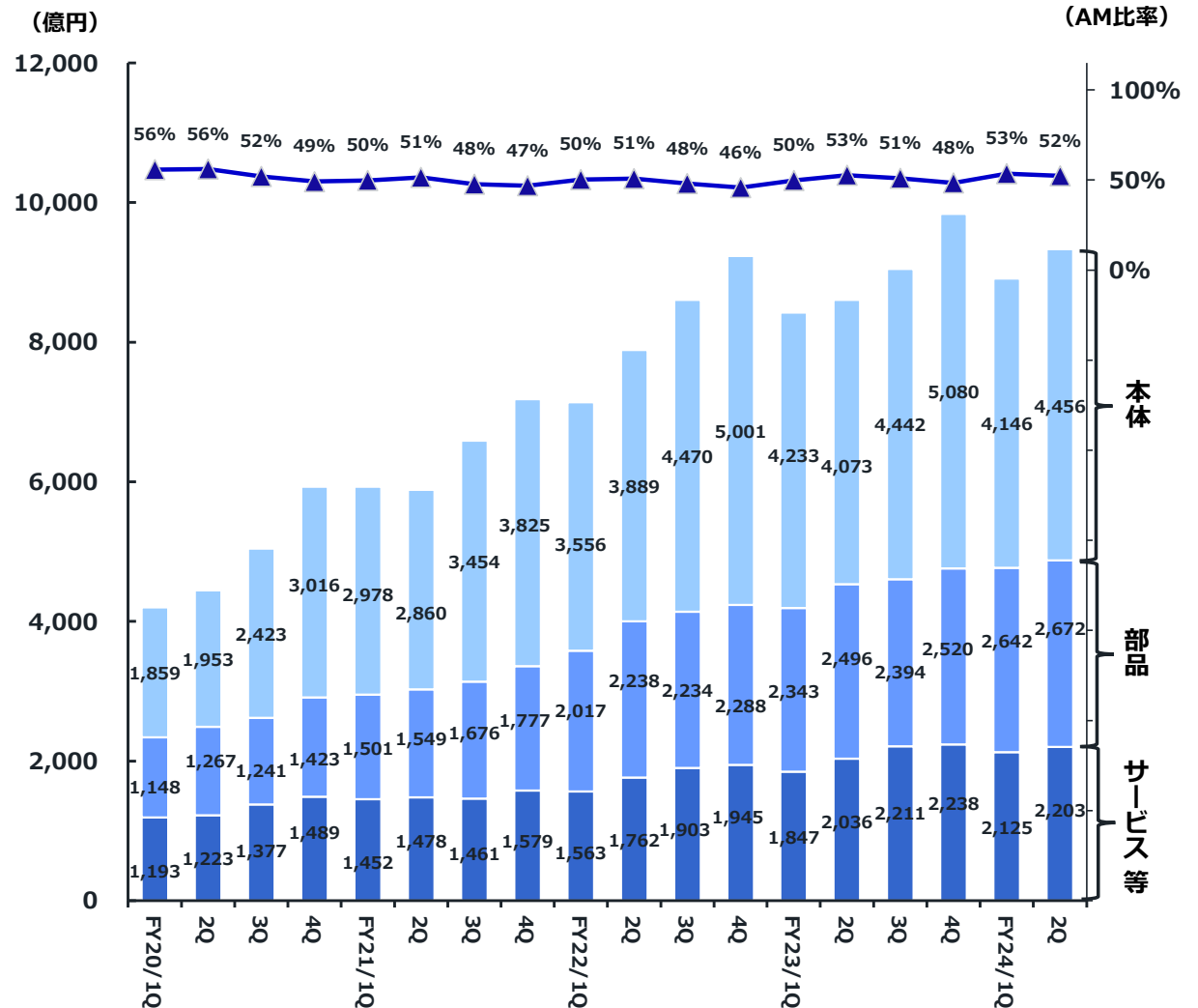
<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2024年度第2四半期の部品売上高は、前年同期比+7%増収の2,672億円。
サービス等をあわせたアフターマーケット比率（AM比率）は52%。
- ・2024年度の部品売上高は、前年比+5%増収の1兆241億円の見通し（4月見通しより変更）。
サービス等をあわせたアフターマーケット比率は、51%の見通し。

年度別売上高



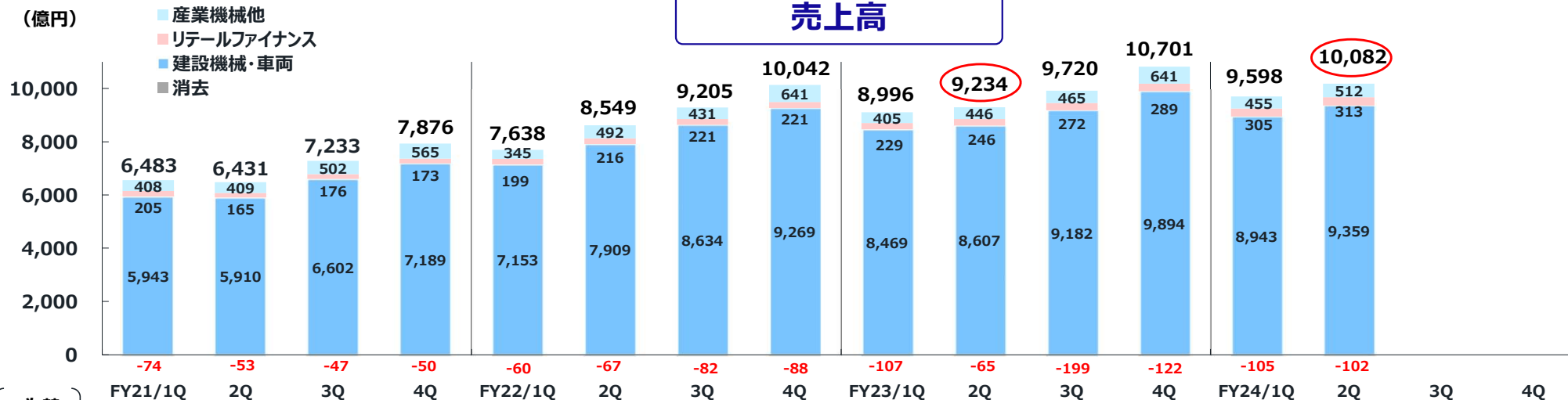
四半期別売上高



参考資料

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

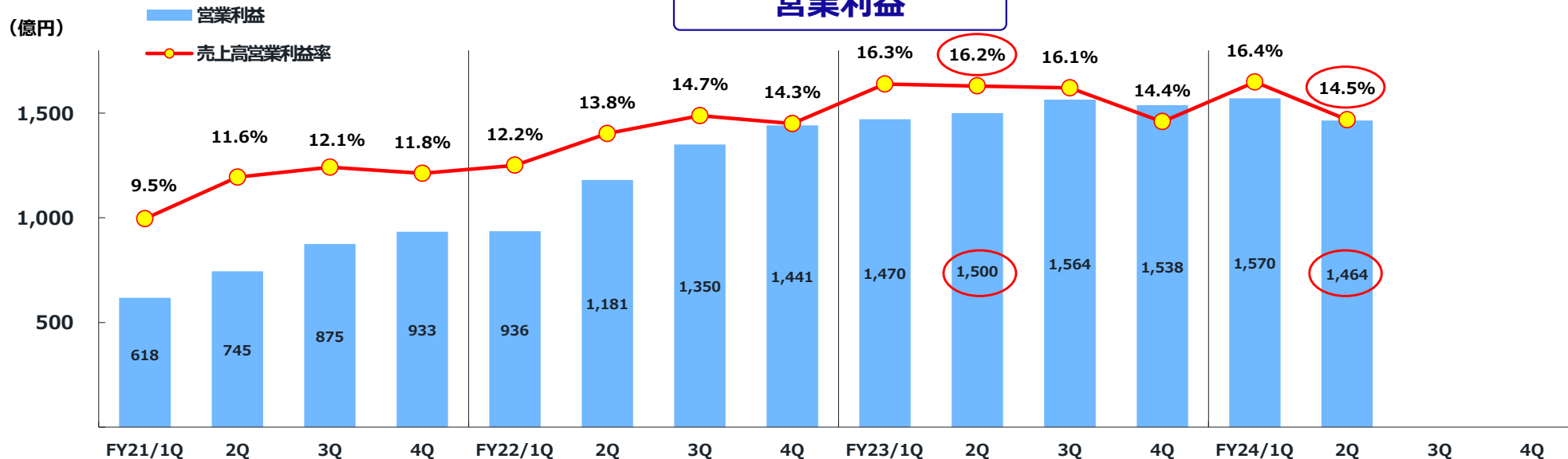
売上高



為替レート

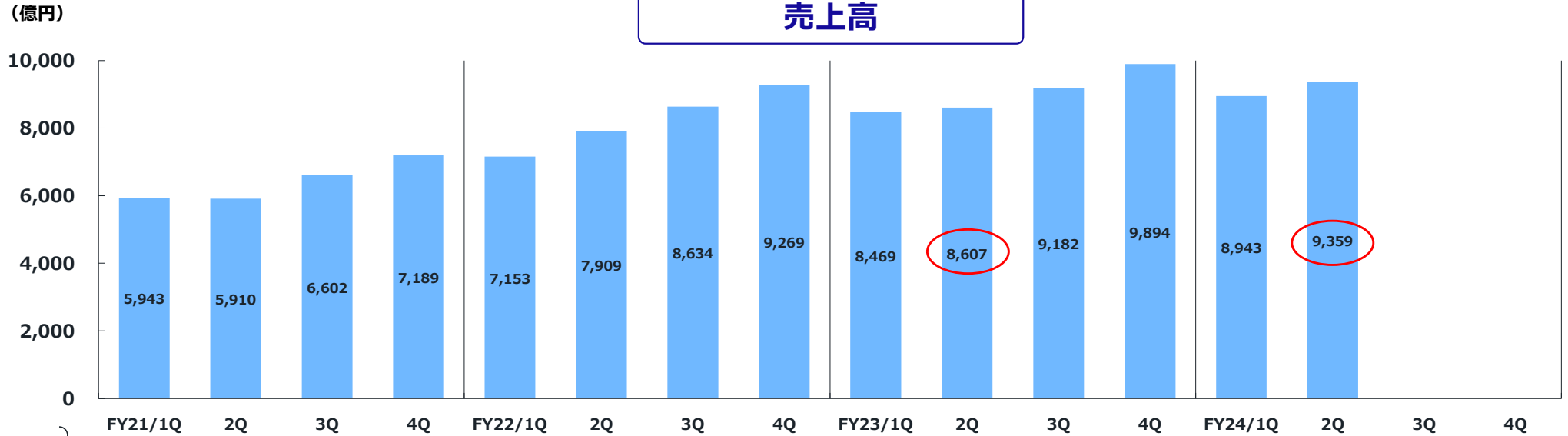
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4		
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6		
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5		

営業利益



【参考資料】〈建設機械・車両〉 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

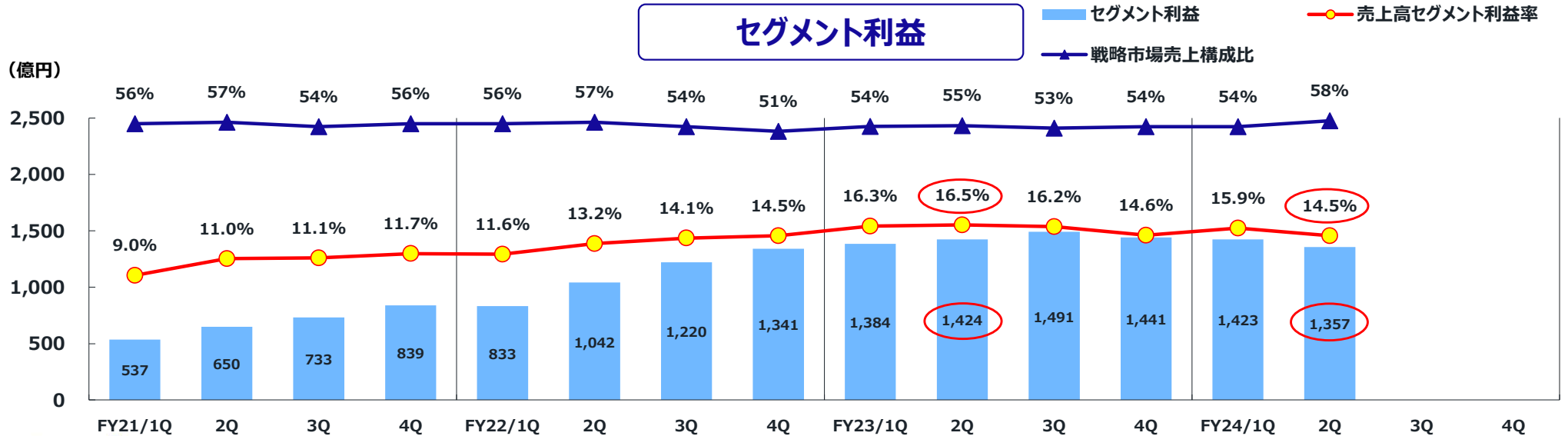
売上高



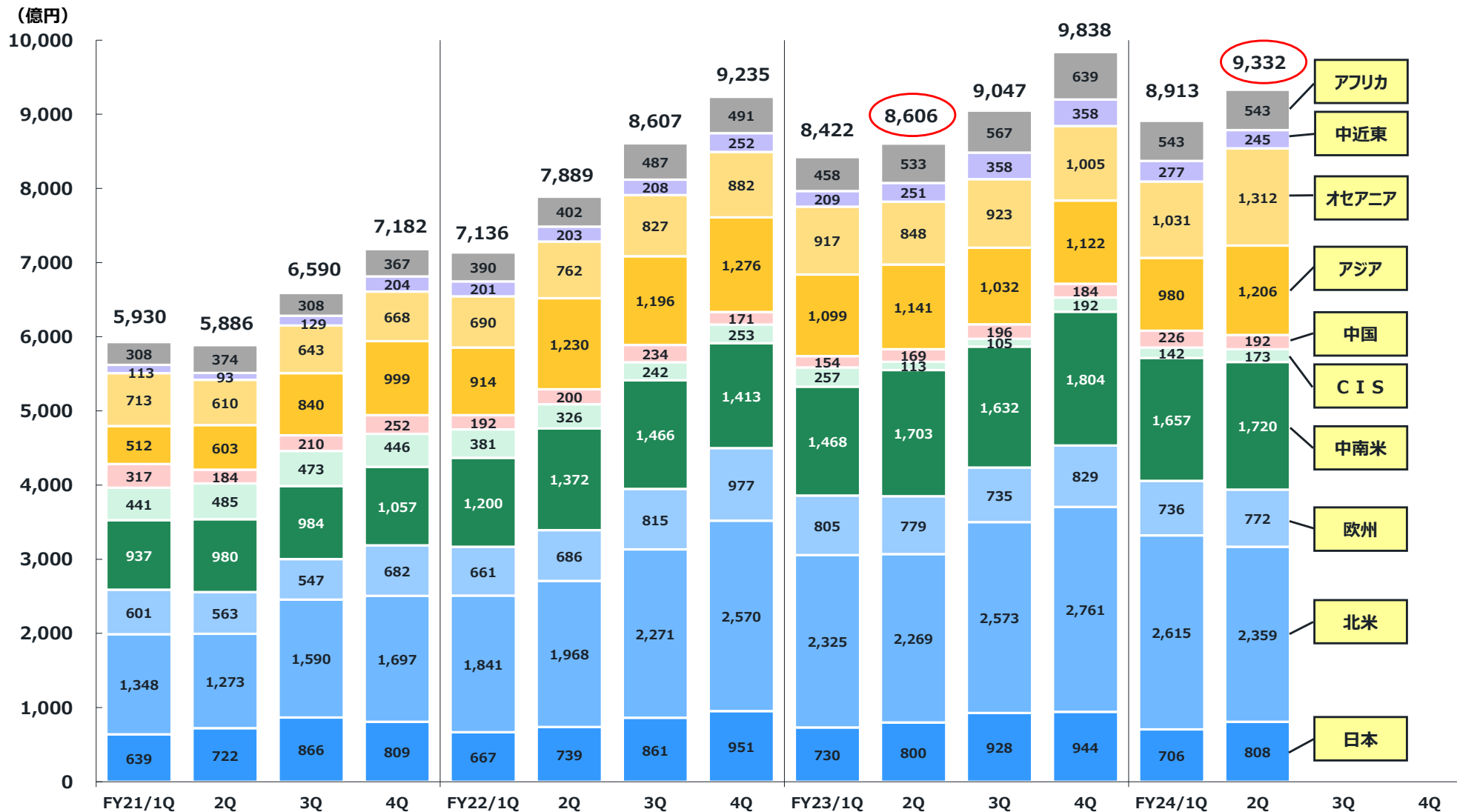
為替
レート

	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4		
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6		
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5		

セグメント利益



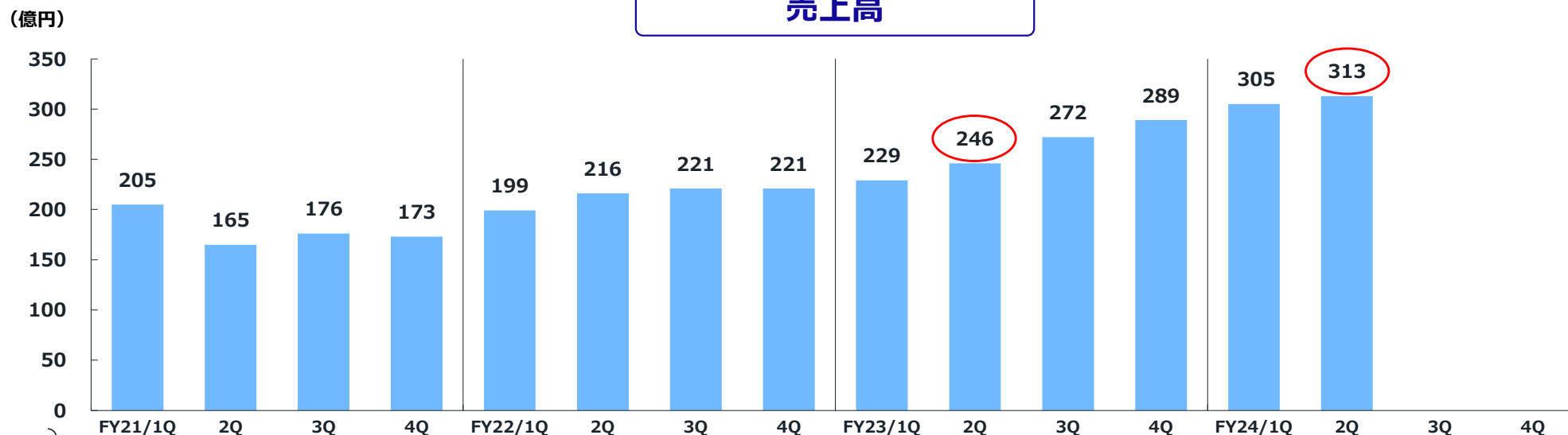
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替レート	FY21				FY22				FY23				FY24			
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4		
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6		
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5		

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

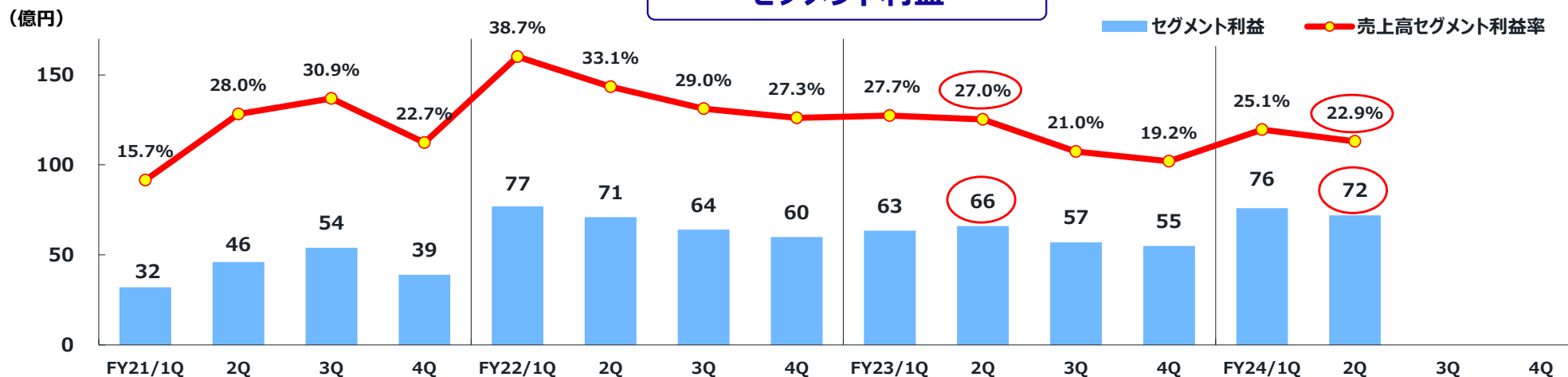
売上高



為替
レート

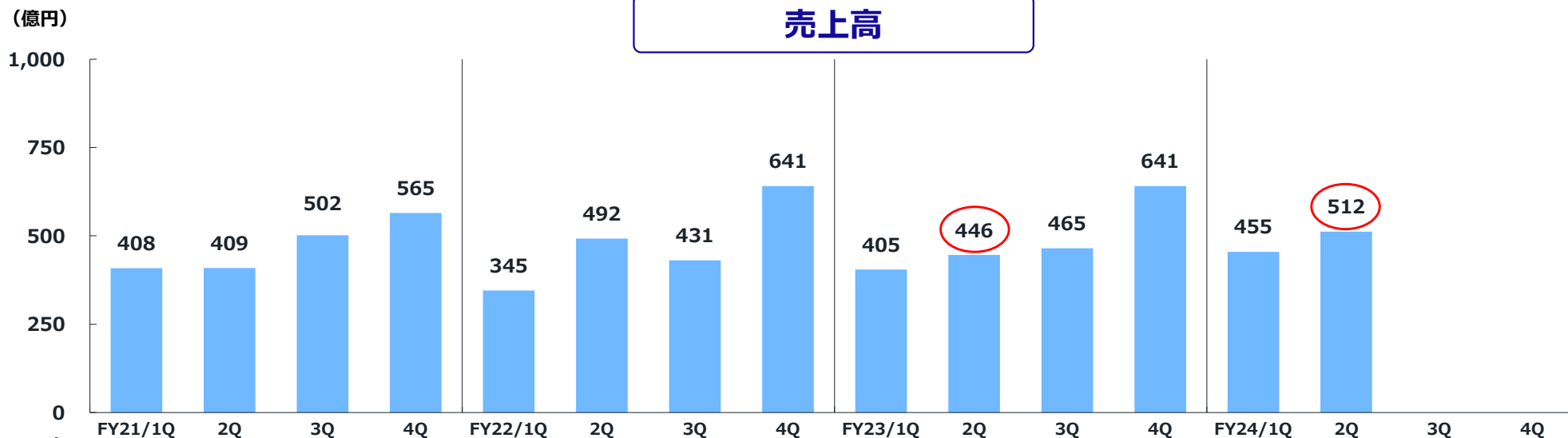
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4		
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6		
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5		

セグメント利益



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

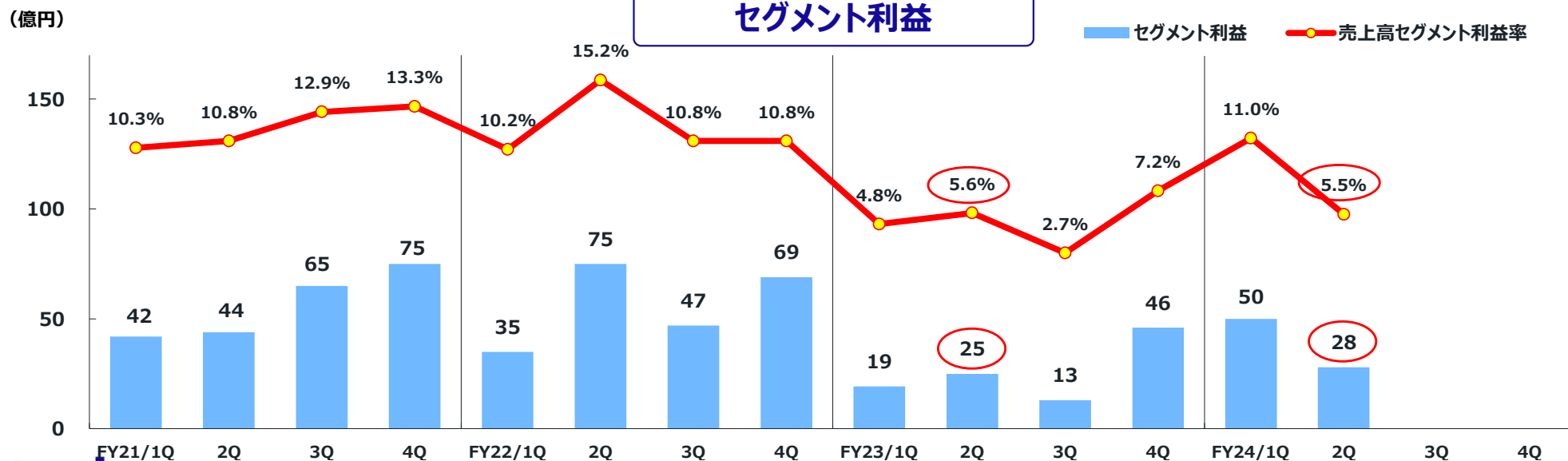


為替
レート

¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7

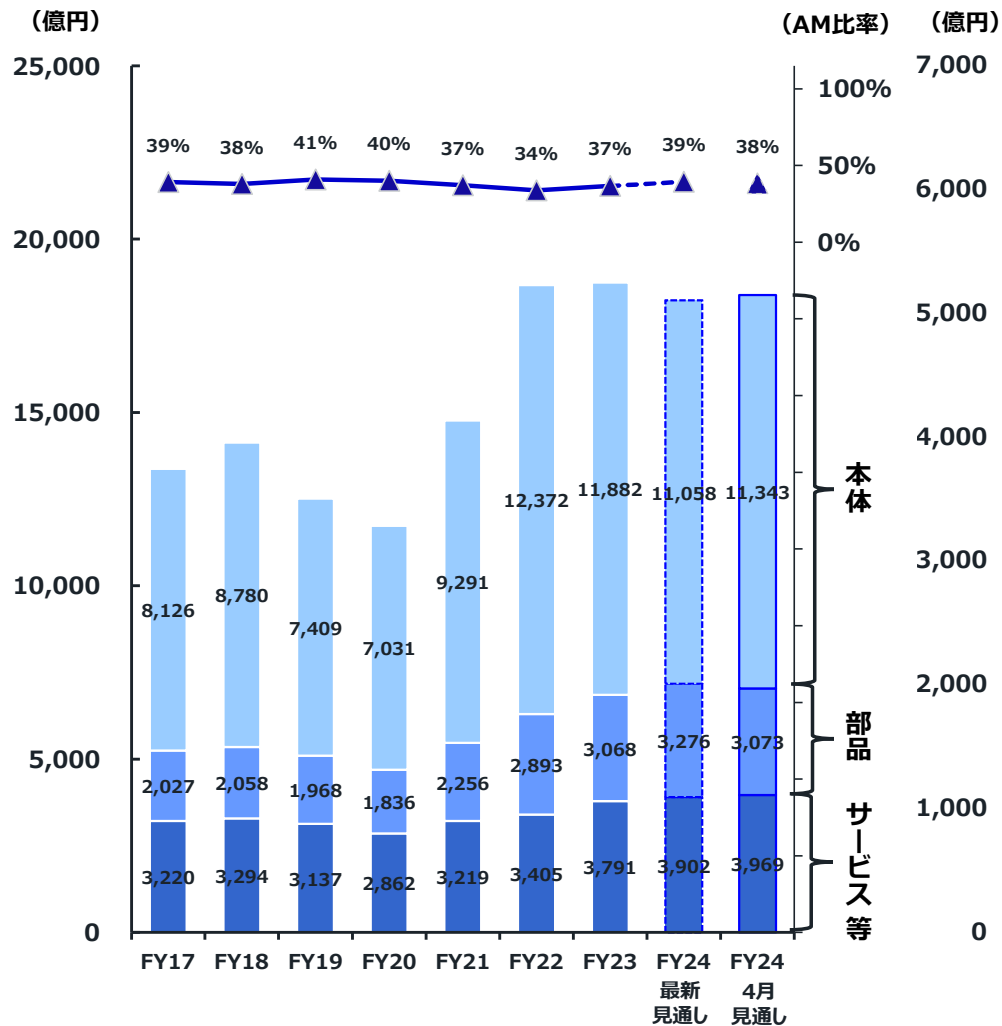
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4		
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6		
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5		

セグメント利益

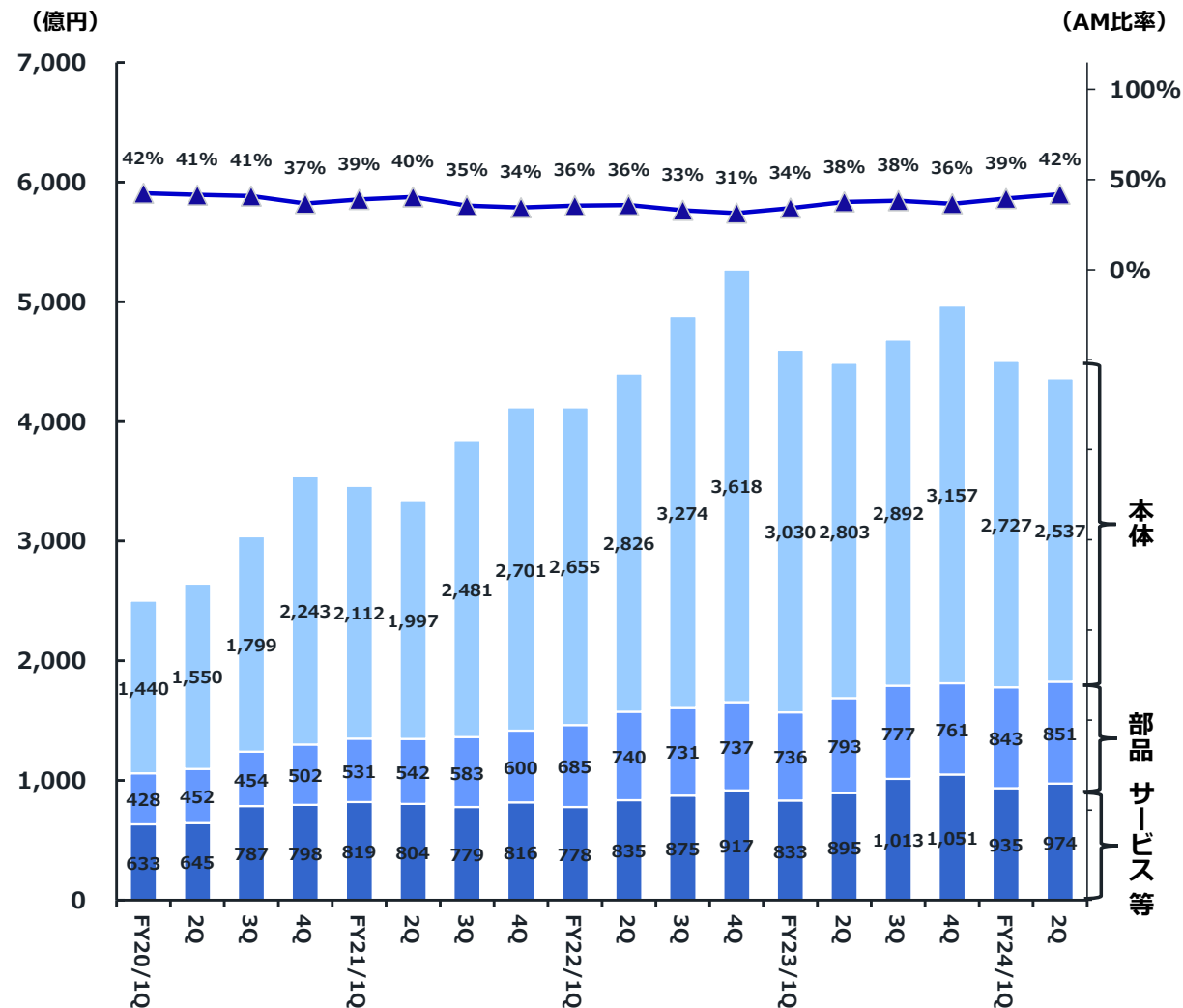


【参考資料】 <一般建機> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

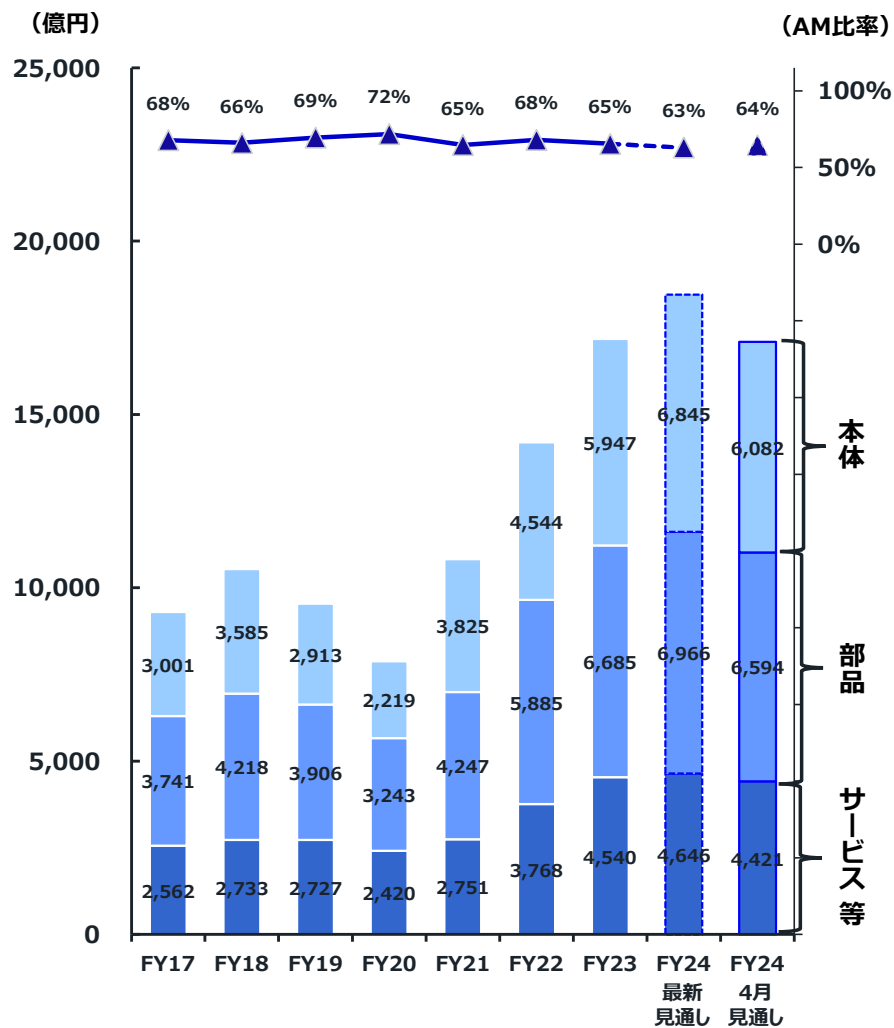


四半期別売上高

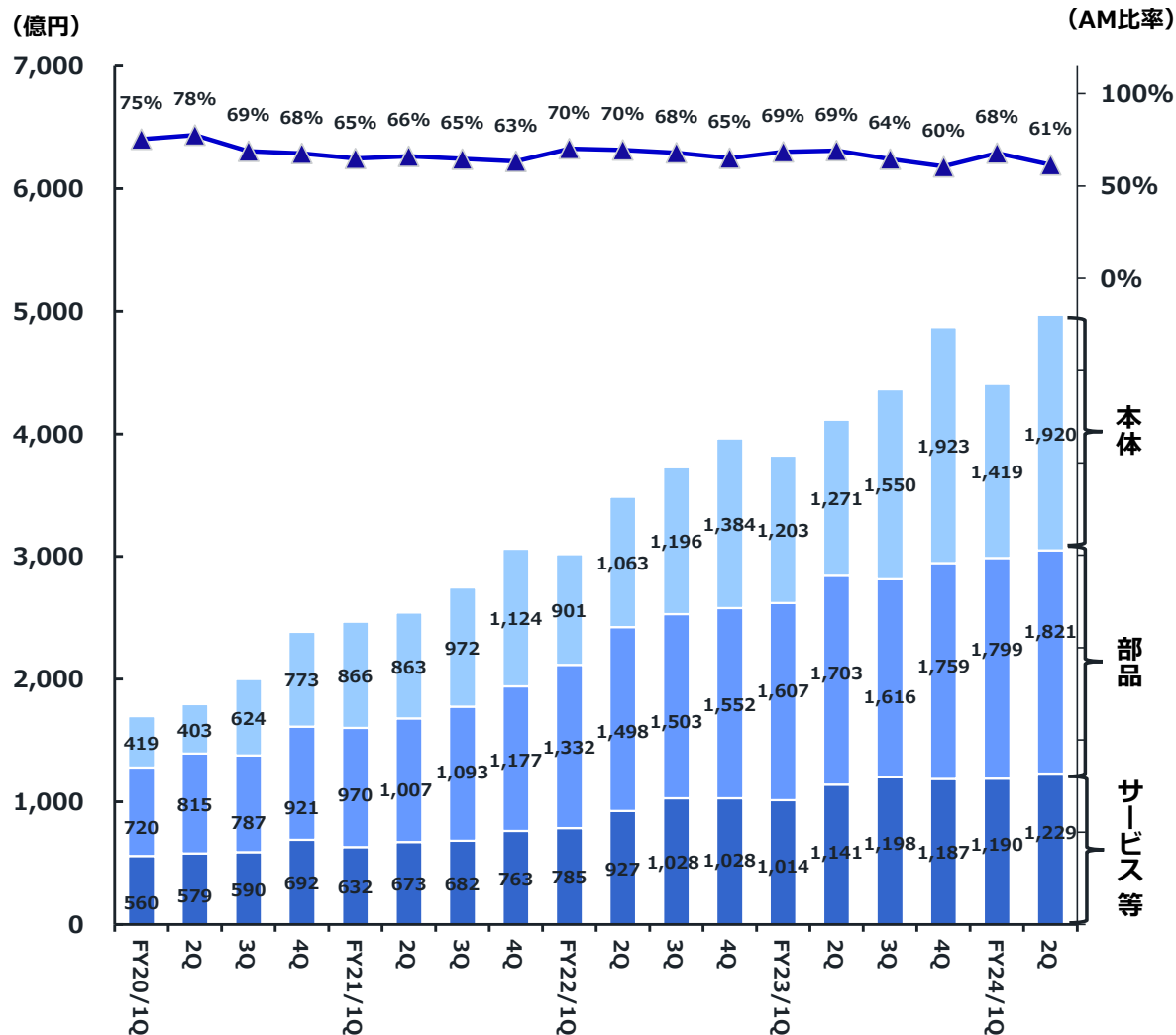


【参考資料】 < 鉱山機械 > 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

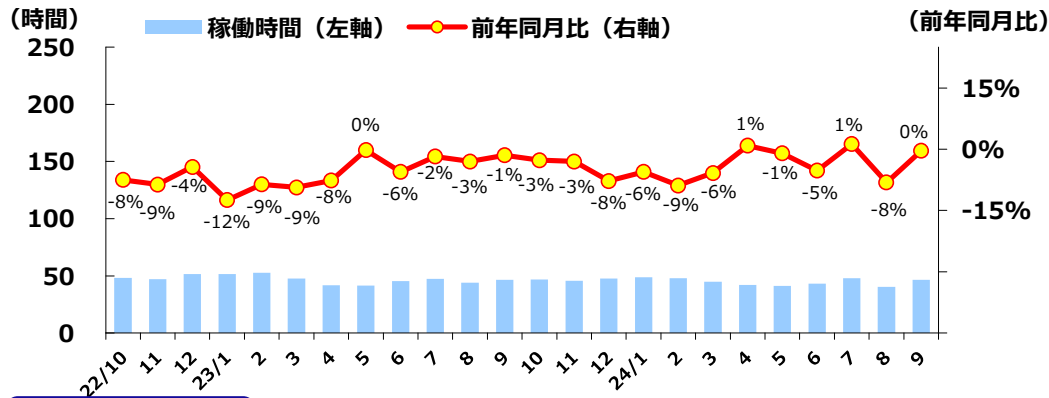


四半期別売上高

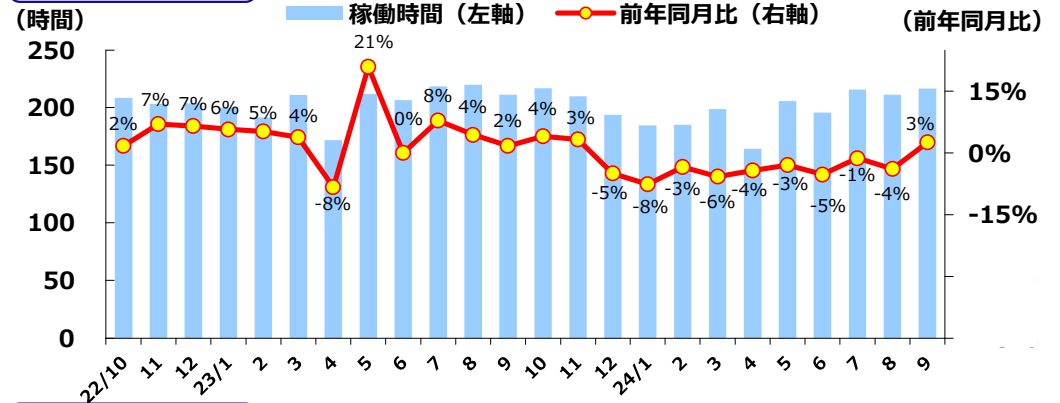


【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

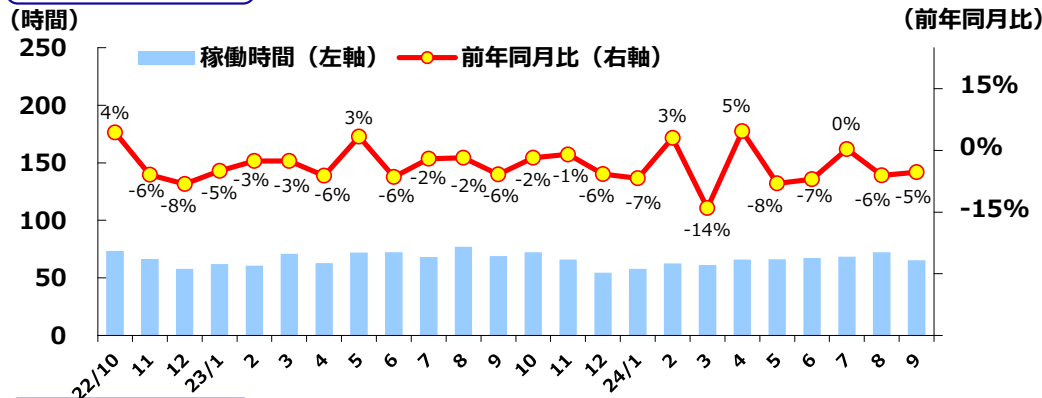
日本



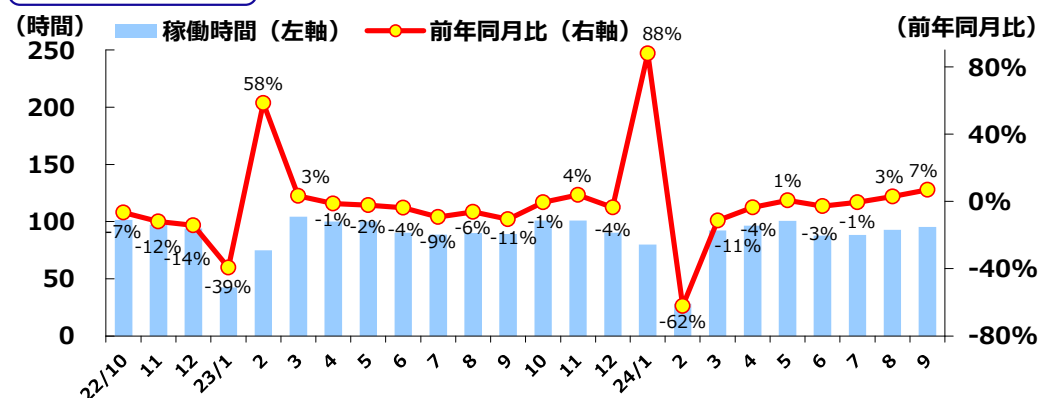
インドネシア



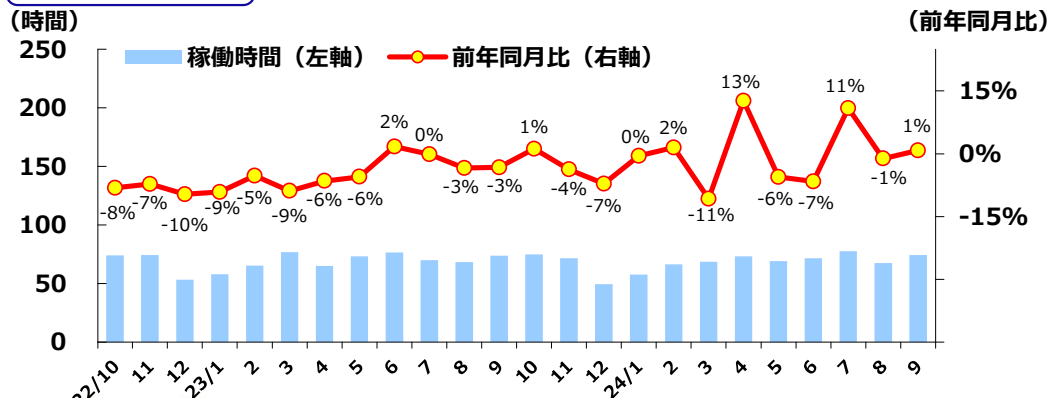
北米



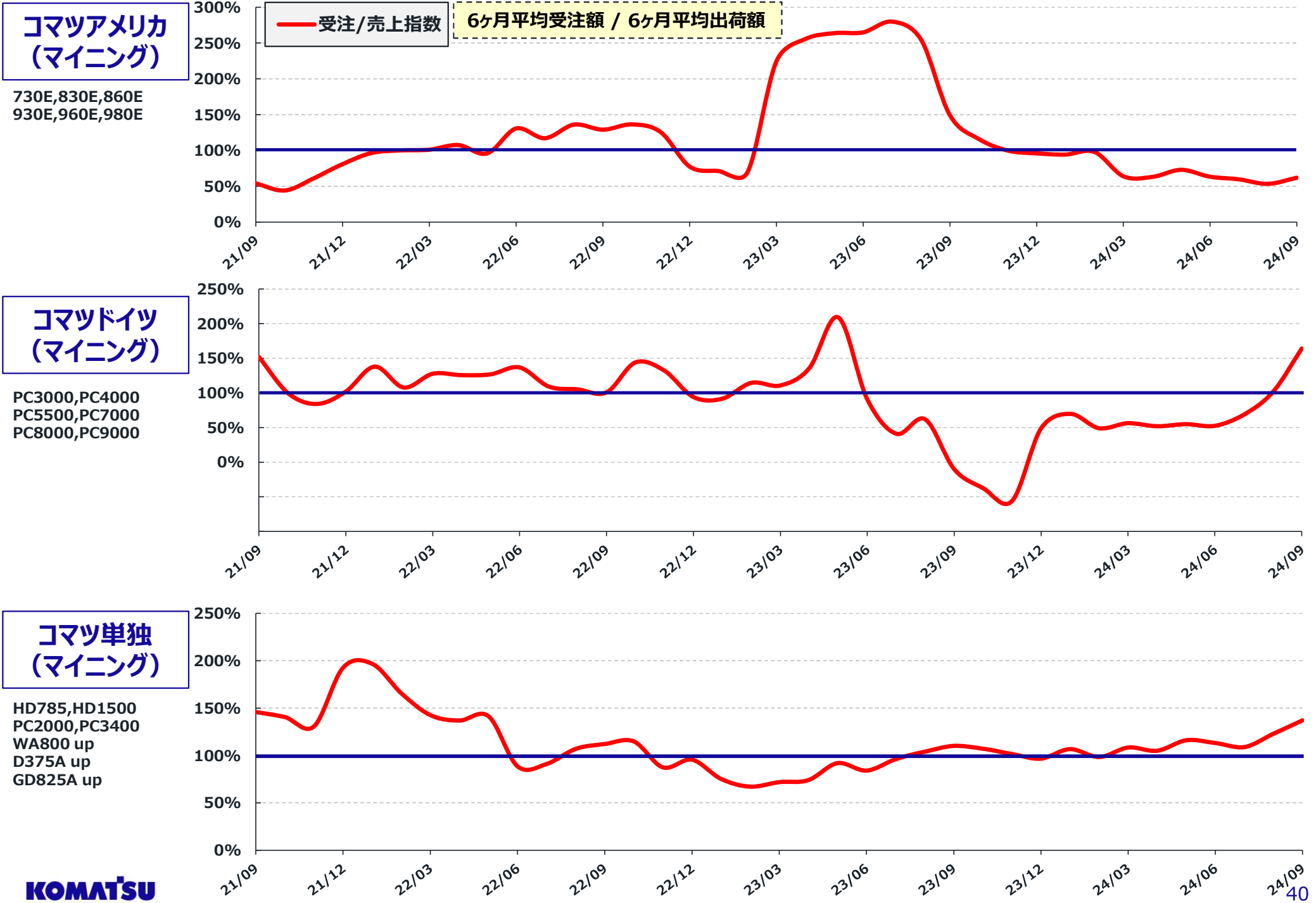
中国



欧州



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

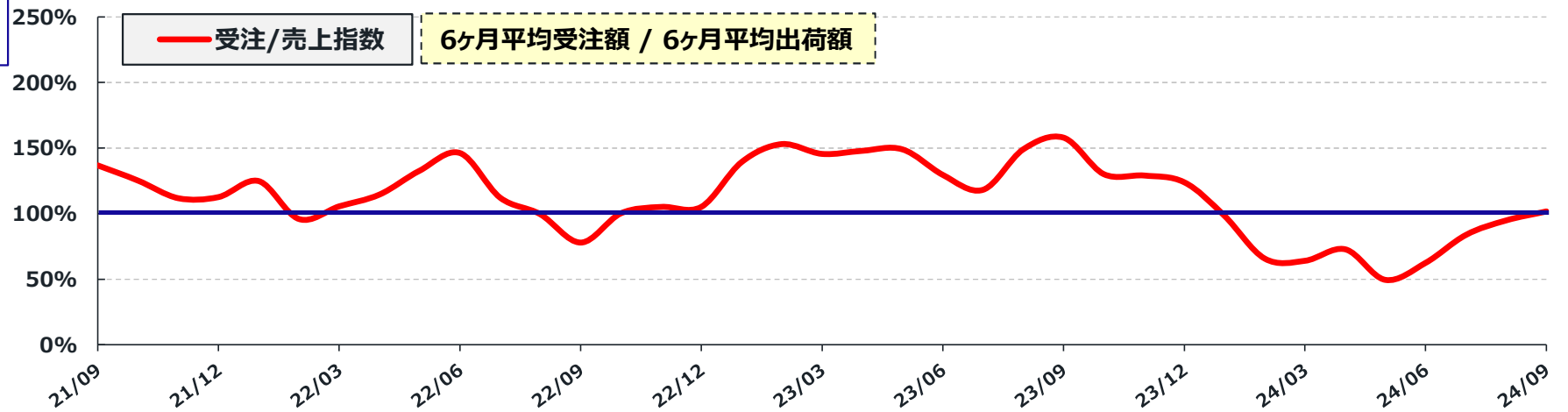


【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

<坑内掘り>
コンティニューアスマイナ
シアラー
ロードホールダンプ
ジャンボドリル他



世界最大級の鉱山機械見本市「MINExpo 2024」に出展

- ・9月24日から26日の3日間、米国ネバダ州ラスベガスで開催された世界最大級の鉱山機械見本市「MINExpo INTERNATIONAL 2024」に出展。
- ・「持続可能な未来を共に」をテーマに、お客さまが目指す温室効果ガス（GHG）削減やゼロエミッションの達成を支援し、現場の安全性や生産性向上を実現する自動化、遠隔操作化、電動化などの最新の製品・ソリューションを発信。



コマツの存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える
未来を切り拓く

コマツがこれまで歩んできた100年は挑戦の歴史でした。
“品質と信頼性の追求”と“ものづくりと技術の革新”は、
創業以来、大切に磨き上げてきた
コマツの核となるものです。
この核を常に磨きつづけることで、
これから歩む100年も“新たな価値を創りつづける”
それがコマツグループの使命です。

Creating value together

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2023>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。